淑　徳　大　学　広　報　誌

Together

2015 Autumn| http://www.shukutoku.ac.jp

SHUKUTOKU

繋げてゆく

写真）足立学長から人文学部1期生の中里さんに、
バトンを受け継ぐ。
バトンは社会福祉学部1期生が卒業時に
千葉キャンパスに植樹した桜の枝で作ったもの。

50th ANNIVERSARY
かわらないもの。かわってゆくこと。

淑徳大学
創立50周年 記念号

208
2015. 10. 1

淑徳大学　創立50周年記念
法要・式典・祝賀会

平成27年9月26日

時を振り返り、分かち合い、未来に向けて時が躍動する

本学の大きな節目となる淑徳大学創立50周年記念「法要」「式典」「祝賀会」が挙行された。それぞれが学祖を思い、自分を見つめ、絆を確かめあった1日を報告する。

この日、さまざまな年代の卒業生、学祖・長谷川良信先生および淑徳大学ゆかりの人々が千葉キャンパスに集まった。その輪の中心で、あたかも学祖が穏やかに微笑みかけているようだった。

大巌寺の厳かな雰囲気の中で、読経に手を合わせていると、傍らで同じく学祖が合掌している姿を見たような錯覚に陥った。時が止まった、時を超えた感覚だった。一転、午後のエネルギッシュな在学生のステージでは、未来に向けて、時が躍動するのを確信した。

午前中は、大巌寺において浄土宗大本山増上寺法主・八木季生台下お導師のもと学祖の50回忌法要が営まれた。続いて八木季生台下から御垂示を、総本山知恩院執事長・北川一有上人から御挨拶を賜った。八木季生台下は、学祖を「衆生を慈しむ菩薩像そのもの」と評する。また、ご自身の学生時代から学祖とご縁が深いという北川一有上人からは、学祖の業績や逸話、さらに学祖の恩師である渡辺海旭師から続く浄土宗と社会事業の潮流についてご紹介いただいた。学祖の実像がいっそう鮮やかに蘇ってくる。

午後の式典・祝賀会で象徴的だったのは、音、声だ。式典の幕開けでは、導師・浄土宗千葉教区長・千野法人上人のもと、淑徳大学聖歌隊が浄土宗歌である「月かげ」他を披露し、音楽法要が営まれ、献灯・献香・献花が行われた。美しい歌声、舞台装置が、一気に参列者の心を一つにし、豊かな共生きの世界を醸成する。

長谷川匡俊理事長が「教職員が燃え、学生が輝き、卒業生が誇りとし、社会の信頼と期待を集め得る大学をめざす」と式辞を述べた。

人文学部表現学科1年生有志によるスペシャルダンスは圧巻だった。一木広治人文学部客員教授、EXILETETSUYA人文学部客員教授の指導のもと入学以来練習を重ねてきたパフォーマンスを東日本大震災復興支援チャリティソング『Rising Sun』に乗せて披露した。力を合わせ、躍動感溢れるステージを表現し、新しい時代の淑徳、共生きの形を力強くアピールした。

ご来賓の下村博文文部科学大臣、豊岡鐐尓浄土宗宗務総長、森田健作千葉県知事、大沼淳日本私立大学協会会長から、本学の社会福祉教育や実学教育への熱い期待を込めた御祝辞を賜った（代読含む）。また熊谷俊人千葉市長、桑原孝昭三芳町教育長、坂本健板橋区長、山口伸樹笠間市長から御挨拶を賜り、いっそうの地域連携の強化を確かめ合った。

これに応え、謝意とともに、足立叡学長が「共生の理念と50年の教育の成果をしっかり継承していく」と次の50年に向けた決意を表明した。

式典・祝賀会では、"TOMOIKIのバトン"をテーマに掲げ、学祖の生涯、本学の足跡、卒業生や在学生の活躍、淑徳大学と国際社会の連携について紹介する4編の映像が放映された。

その中で、本学の第1期生である川眞田喜代子総合福祉学部教授が開学時の思い出を披露している。「自ら率先して行動を起こすこと」「行動や実践が伴うこと」、それが学祖のめざした実学であると。1期生の卒業時、なにか形に残したいという思いでキャンパスに桜の木を植えた。いまや幹が3メートルを超える太さに育っているという。50周年を記念し、その枝を使って「バトン」がつくられた。エンディングでは、学生代表の髙木直揮さん、川前壽美子さんが、"TOMOIKIのバトン"をしっかり受け継ぐことを誓った。

司会を務めた松永二三男人文学部教授、人文学部表現学科2年生中里玲奈さんをはじめ、教職員・学生達の手づくりによる記念行事だった。目頭を熱くするスタッフもいる。後援会・協賛会・同窓会の皆様、地域や本学ゆかりの皆様、すべての人が一つになって、一言ひと言を噛み締めるように吹奏楽部の演奏により大学歌を斉唱し、名残惜しい中で幕を閉じた。

この日ほど、学祖の理想を受け継ぐ誇りを強く感じる時はなかっただろう。「共生社会の創出」というビジョンに向けて、淑徳大学は力強い新たな一歩を踏み出した。

人文学部表現学科1年生による
50周年記念スペシャルダンス「Rising Sun」

千葉キャンパス　アリーナで開催された式典・
祝賀会の模様520名もの来賓が
キャンパスを訪れた。

4キャンパス7学部体制に発展を遂げた淑徳大学。
大乗仏教の精神に支えられた利他共生の理念に
基づく教育を推進し、社会の期待に応えていく
とさらなる進化を誓った。

当日、千葉キャンパス3号館（研究棟）脇に建立
された大学歌の石碑の開眼法要・除幕式が行われた。
石は学祖が幼少期に過ごした
得生寺（茨城）近くの産であるという。

長谷川匡俊理事長の式辞。「学祖の情熱を継承し、
宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・
社会開発の実践を通して、21世紀の課題に応えて
いきたい」と学園を代表して挨拶。

大巌寺で開催された「学祖 長谷川良信
50回忌法要」大学関係者や大巌寺の
壇信徒の皆様、250名が参加した。

50th Anniversary

50周年に際して 理事長、学長からのメッセージ。

大乗淑徳学園 理事長
長谷川 匡俊
MASATOSHI HASEGAWA

学祖の後に続こう

「彼が孤児なら、我も孤児」といった仏教者としての強烈な正義感と平等意識に燃えて貧民窟に飛び込んでいった青年時代の学祖。その姿勢と行動力は最期までブレることなく、むしろ変化する時代社会のニーズに応え、事業や活動はどこまでも広がりかつ深まって進化し、「宗教と社会事業と教育の三位一体による人間開発・社会開発」の提唱につながってゆく。

したがって、淑徳大学の創建は、単に制度的な意味での大学設立にとどまるものではなく、学祖の半世紀にわたる多面的な活動の集大成であり、同時に未来を託す指導力の源泉ともいうべき意味を含んでいる。学祖の大学に寄せる期待の大きさに思いを致したい。

それにしても学祖の浄土への旅立ちはあまりにも早かった。開学の翌年 8月 4日のことで、未だ一期生の卒業を見送ることさえかなわずにである。この衝撃はしかし、学祖なき前途への不安と悲しみを乗り越えて、学生・教職員等が一つとなり、「学祖の後に続こう」と建学の理念に共感し奮い立たせたのであった。以来半世紀、三万人に及ぶ淑徳人を世に送り出すまでに成長を遂げてきた。今日の大学があるのは、その淑徳人たちの活躍に負うところが大きい。

21世紀を生きる私たちの前に立ちはだかる問題はあまりにも多く、かつ困難を極めよう。だがしかし、私たちは学祖からのメッセージに耳を傾け、明日に向かって歩み続けようではないか。

―天地の恩に覚むる時、誰か奉仕を思わざる、―実学四年勇者我れ、未来 を開く菩薩道―（大学歌）

淑徳大学 学長
足立 叡
AKIRA ADACHI

皆さんへ受け継がれる学祖のバトン
～大学創立50周年を迎えて～

今から50年前の１９６５年、我が淑徳大学が現在の千葉キャンパス大巌寺の地に、当時としては先駆的ともいえる福祉系大学として誕生したことは、今日に至る淑徳大学の記念すべき歴史的原点であります。それ故創立50周年を迎える本年、私たち在学生、卒業生そして教職員に問われていることは、この50年にわたる本学の「建学の精神に基づく教育」の成果を自他ともに検証し、さらなる50年という将来に向けてその教育をいかに継承していくかを問い、それを心に定めることだと思います。

学祖・長谷川良信先生は淑徳大学の建学に際して、これからの時代、社会を生きていく人間には、何にもまして「他者と共に生きる力」が求められており、そうした力を身に付けた人材の育成こそ、これからの大学の使命であると確信され、その「建学の精神」を大乗仏教の精神に基づく「利他共生の理念」と「実学教育」に定められました。その意味で、50周年以降のこれからの時代が、予測不可能な時代であればあるほど、私たちには、学祖・長谷川良信先生からのバトンである「大学創建への熱い使命感とその建学の精神」を現代に生きたものとしてしっかりと受け継ぎ、将来に向けて足を地に着けて歩んでいくことが求められているのです。

淑徳大学 開学50周年記念

淑徳大OB/OG、現役淑徳大生からコメントを頂きました。

社会福祉学部（現 総合福祉学部）の1期生から、
昨年度設置した50期生となる人文学部1期生まで各入学年度から1名ずつ、
計87名の方々からコメントを頂きました。
在学中の思い出や、卒業してからの活躍などを語っていただきました。

【質問項目】
❶ 現在の仕事、経歴、近況。または淑徳大学での目標、近況
❷ 学生時代の思い出。または淑徳大学での学修、実習や交流について
❸ 後輩へのメッセージなど、淑徳大学に入学して良かったこと

● 1965 ～ 1967

1965

■ 設置認可
- 社会福祉学部
  社会福祉学科設置認可
  （千葉県千葉市大巌寺）
- 千葉キャンパス開学、
  創立者長谷川良信学長就任
- 付属施設、
  淑徳大学児童相談所開設

川眞田 喜代子さん
（野口）
1965年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
淑徳大学 総合福祉学部 教授

❶ 卒業後、養護学校教員になりました。結婚のため一度は退職するも再度教員に。肢体不自由児とその母たちと人生を共に生きてきました。その中で培われた財産を元に、母校である淑徳大学から２７０名以上を教育界に送り込みました。

❷ 一番の思い出は児童文化研究部の立ち上げです。予算がないことを女性週刊誌に訴えたら、全国からミシン、布、毛糸、お金等の好意が寄せられ人形劇の人形や着ぐるみが制作できました。また「学生会」を作り教職員と一体となりより良い大学を目指しました。一か月の泊まり込み施設実習や施設見学もあり、神奈川のお寺に泊まり墓地で肝試しをしたことは楽しい思い出です。

❸ 全てが「初めて物語」の大学でした。何もないのが実態でした。あるのは良信先生の社会事業を担う若者を育てたいという熱く強い思い出だけでした。だからこそ共生社会実現のためのパイオニアになるべき人は、自分たち一期生だと誰もが自覚していました。

1966

■ 遷　化
- 創立者長谷川良信遷化
- 第一回 龍澤祭開催

永井 光夫さん
1966年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）いずみ会障害者支援施設
袖ケ浦学園 勤務

❶ 卒業後すぐに東京都に入職。東京都養育院千葉分院（現・東京都千葉福祉園）に配属されました。定年まで勤務したのち、淑徳大学大学院総合福祉研究科に入学。その後、障がい者支援施設袖ケ浦学園に奉職し現在に至ります。

❷ 当時大巌寺の樹木にはたくさんの鵜が住み付いており、時に空爆、時にお魚爆弾が降下してきました。また、丸館しかなかった大学の周囲に道路普請をしたこと、今は亡き、「花澤さん」と一緒に慣れない手つき、腰つきで学内を整備したこともありました。大学と一緒に、私も成長をしていったという気がします。

❸ 何も解らない未熟者だった私を一社会人に育ててくれた事でしょうか。1期生と一緒に、訳もわからず「寮祭」だ「龍澤祭」だと、お祭り騒ぎを繰り返していた時に、大巌寺町の住民の皆さんが暖かく迎えてくださいました。地域と大学と学生で大学を盛り立てていこうと協力したことが今の淑徳大学を醸成させたものと思います。

1967

■ 第１号発行
- 『淑徳大学広報』
  第１号発行

河野 和枝さん
（船木）
1967年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
北星学園大学 社会福祉学部
勤務

❶ 卒業後北海道に戻り、大学で取得した社会教育主事の任用資格を生かし、道東の別海町教育委員会に勤務しました。日本一広い矢臼別演習場が町内にあり「平和」を考え、個人的には「仕事と子育ての両立」に挑戦するなど地域の人々から学んだ経験は、学生に社会教育を教える現職につながっています。

❷ 4年間「龍澤祭実行委員会」に所属し、先輩後輩なく協力し合い盛会に終わらせた感動が甦ります。また中村藤太郎先生の演習で、キャンプに行ったり、ご自宅に招かれごちそうになったりと授業外でも温かい親交を持ってくれました。人生のモデルを頂き感謝し一生忘れません。

❸ 学生時代は、人生を準備するために猶予された特別の時間であると思います。この時間をどのように生かすか、いつの世も問われているのではないでしょうか。先輩・後輩とつながり様々な活動に挑戦し豊かな自己形成をして下さい。必ず学問探究と重なり充実した4年間になると思います。期待しています。

1968
開　設
- 雄飛寮（男子）、若樹寮（女子）開設

村上 敏克さん
1968年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
帯広市教育委員会こころの教室
勤務　相談員

❶私が入学したのは、昭和43年4月。ようやく4学年が揃った年でもありました。大学に隣接する大厳寺会館に住み、野球部に在籍しました。卒業後は四街道市役所に6年間勤務した後、故郷の北海道に戻り、帯広市内の中学校に勤務。5年前に退職し、現在は帯広市教育委員会こころの教室相談員として、週4日勤務しています。
❷諸先輩方のご尽力により、2012年5月、同窓会北海道支部設立の運びとなりました。本年6月にも第二回支部総会を開催しました。約250名の卒業生が道内に居住しているものの、地域が広く、集まりづらいなど課題も多いですが、同窓会員の交流と親睦を図っていきたいと思っています。
❸同窓会の活動に関わっていると、同窓生の多くが、それぞれの分野のエキスパートとして、重責を担って頑張っている様子がよくわかります。今後においても、諸先輩の築き上げた伝統を受け継ぎ、更なる発展に期することが、卒業生や在校生に課せられた責務であると思います。

1969
同窓会結成
- 第一回卒業証書授与式実施
- 淑徳大学同窓会結成
- 「精神薄弱幼児治療教室」開設

射場 正男さん
1969年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
淑徳大学 学生相談センター
勤務

❶淑徳大学の学生相談センターでスクールソーシャルワーカーをしています。通勤時に蘇我駅のホームで「そのまちに、ちからを」「そのひとに、えがおを」と書かれた看板を目にするたび地域に根差し、そこに住む一人ひとりを大切に思う学祖の想いをかみしめます。社会での実体験を少しでも還元できればと日々努力しています。
❷当時、淑徳大学に入学する人は「知識を得たい」「多くの人と出会いたい」という共通の意識があったように思います。教師と学生の間に垣根がなく、不勉強気味でも忌憚なく教師と討論できる雰囲気は大人への一歩を感じさせてくれました。社会に出る前の人間形成の場として、濃密な時間でした。
❸今日の学生は「自分をしっかり見つめたい」「将来に対する不安感や焦燥感の中で、自分に対する付加価値を付けたい」と強く願っているように思います。本学に入学された皆さんには、ぜひ「共生」の精神を「実学」で学んでほしいと思います。人間力は学力をもカバーできると思います。

1970
開　催
- 学内シンポジウム「社会福祉とは何か」開催

伊藤 文彦さん
1970年 入学
総合福祉学部 総合福祉学科 卒
（社）宝寿会 障害者支援施設若葉泉の里
障害福祉サービス・大宝センター・グループホーム
4か所（事業種目13事業）勤務

❶卒業後は都内の金融機関へ9年間勤務し、その後千葉県千葉リハビリテーションセンターで医療・福祉を学び施設の立ち上げに参加、創設17年目を迎えました。障害者支援施設と障害者福祉サービス事業の運営をしています。
❷当時は地方出身者が大学全体では8割強でしたので、第1男子寮では全国各地からの寮生と苦楽を共にすることができました。毎日がお祭りのように賑やかな集団生活であったように思います。また、日本傳拳法部は大変躾も厳しい反面、面倒見が良い先輩にも出会うことが出来ました。現在でも拳法部同窓会は続いており、会うたび昔話で盛り上がっています。
❸学生時代にたくさんの人と出会い、多くの体験を通して幅の広い物の見方が出来る人間に、そして将来の進路にいるプロセスを見つけ目標に向かって取り組んでください。社会福祉士は今後更に需要が高まり、重要な職業になると思います。継続は力なりを実践して行きましょう。

1971
実　施
- 第一回オリエンテーション・キャンプ実施
- 体育祭を開催

川根 紀夫さん
1971年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
千葉県佐倉市役所 勤務

❶千葉県佐倉市役所の福祉事務所に配属され、定年まで障害児者に関する現業業務に従事。退職後は再任用職員として社会福祉法人監査、地域福祉計画、生活困窮者支援法等の業務に従事。日本手話通訳士協会政策担当理事、全国手話通訳問題研究会自治体業務・政策研究委員、日本早期認知症学会、自治体学会、手話通訳学会に所属。
❷私は学生時代にろうあ者の方々の運動に参加する機会を得、そこから多くの障害のある方たちとの出会いへとつながっていきました。この時間が、障害のある方たちの現状を知る機会となり、学校での学びを深める機会となりました。それが私の人生の転機だったようにと思っています。
❸私が出会った障がいのある方々は、年齢や生活や医療など生活場面に係らず、全ての段階、領域で様々な課題を抱えながらもたくましく一日一日を過ごしています。この姿は、私にとって、仕事といった意味だけでなく、人としての生き方等大変多くの教訓を与えてくれました。

1972
改　称
- 付属施設児童相談所を付属研究所施設「淑徳大学カウンセリング・センター」に改称

袴田 忍さん
（田崎）
1972年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
一宮町議会議員

❶卒業後、児童福祉の道を選び県内の児童養護福祉施設の職員となり、大舎制小舎制施設・児童家庭支援センター長・地域小規模養護施設長と40年係わってきました。その間、福祉の現場と行政の関わりそして地域との交流を考え、現在2期目になりますが地方議会議員に参加しています。
❷入学当時は学生運動が盛んな時代であり、「授業料値上げ反対運動」のストライキ真只中に入学試験を受験したことを記憶しています。学生時代は福祉の基礎の学びと本学の「共生」についてゼミ仲間や友人と議論・語り合う記憶はあるが、むしろ私は学業より龍澤祭・体育祭等の実行委員を率先して行い、祭りと仲間同士のコミュニケーション作りに没頭していました。
❸私そして実際の福祉現場で働く卒業生、今現在学びの途中である学生さんの福祉理論に相違点もあるでしょうが、同じ淑徳大学で学んだ福祉教育は先輩後輩隔たり無く、福祉サービス向上に寄与する仲間として、今後もお付き合いしていきたいものです。

1973

宇津木 みどりさん
1973年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
淑徳大学 保育・教職課程センター 勤務

❶大学卒業と同時に採用され、特別支援教育一筋の教員生活を送りました。この4月から御縁を頂き、母校淑徳の『保育・教職課程センター』に嘱託教員として勤務させて頂いています。微力ながら、後輩を育てるお手伝いができることを嬉しく思っています。
❷学生時代の思い出は、なんといってもカウンセリングセンター（現発達臨床研究センター）での2年間の実習です。偉大な研究者である宇佐川浩先生（故人）の指導のもと、私は音楽療法に取り組みました。センターでの臨床、ケース会議、たくさんのダウン症児と関わった2年間は、私の教育者としての礎となりました。
❸インクルーシブ教育システムが進められている中、『特別支援教育』の占める位置・役割は大変重要なものとなっています。学生時代に基礎を十分身に付け、また「たまごプロジェクト」のような現場での経験もたくさん積み、ぜひこれからの教育を担っていく教育者となってください。「努力は人を裏切らない。」

1974
竣　工
- 千葉キャンパス第一講義棟（現6号館）竣工

北村 雅さん
1974年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）双葉町社会福祉協議会勤務

❶震災・津波・原発事故から4年と半年余り。私の故郷福島県双葉町は田畑は荒れ野原・家に入るのも閉ざされた帰宅困難区域です。現在双葉町社会福祉協議会に在籍しています。住民の方が少しでも健康で元気に生活できるように願いつつ、勤務しています。
❷大学まで徒歩5分の一軒家に4年間住んでいました。サークルは日本傳拳法道部で今でも同輩・先輩等とはつきあいがあります。その他は下手なギターを持ち、仲間と2年次と4年次にコンサートを開催。もう一つ忘れられないことがあります。1年次と4年次に学費値上げ反対のストライキがあり、それが縁で2人の女性と知り合うことが出来ことです。
❸福島県同窓会、そして小山市（栃木県）に住んでいるので栃木県同窓会とも仲良くさせていただいています。震災で多くのものを失いました。でもこの4年間で多くのことを得ました。あの時淑徳大学に入学していなければ……今こうして生かされているのは、淑徳大学に入学したからだと思います。

1975
開　催
- 関東社会福祉学会開催
- 淑徳大学開学10周年祝賀会開催

長門 加代子さん
（斉藤）
1975年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）天童福祉厚生会
特別養護老人ホーム明幸園勤務

❶当会は天童市内に最初の特養ホームを開設するために設立されました。事業拡大を続け、市内最大規模の法人となりました。昨年リニューアルした特養ホームは全室個室のユニット型、暮らしのしつらえに細部までこだわったフラッグシップ施設です。今後も、地域福祉の拠点施設として「まちづくり」に貢献してまいります。
❷同窓会山形県支部立ち上げの際、長谷川理事長、足立学長にお越しいただき、織田宗家菩提寺天童三宝寺を訪れ理事長の読経を拝聴、山寺など観光できましたこと、幸せな思い出です。西塚事務局長、結城・米村両教授には公私共お世話になっております。同窓会県支部を中心に淑徳出身者との交流の輪を広げております。
❸今の仕事、暮らし、多くの友人。今の私があるのはすべて淑徳で学んだお蔭だと私には思えるのです。「共生・実学」「together with him」の精神はもとより学生時代で完結するわけではなく、地域社会での日々の実践を通して体得していくものなのです。

1976
竣　工
- 千葉キャンパス5号館（講義棟）竣工

飯嶋 芳彦さん
1976年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）浜松市社会福祉協議会勤務

❶浜松市社会福祉協議会に勤務し35年間、様々な業務を担当しました。現在、浜松地区センター長（浜松市中区・南区・東区を管轄）として、運営・管理に関わる仕事をしています。基幹業務である「地域福祉推進」「ボランティア育成・活動推進」のための人材確保・資金捻出・予算確保も大きな課題となっています。
❷静岡県にも、淑徳大学の同窓会が組織されています。年1回の総会をはじめ、交流の機会を多く持っています。大学側からも年1回は出席があり、先輩・同期・後輩と世代を越えて関わることができ交流のきっかけにもなりました。まさに社会福祉の原点である「ネットワーク」が育っています。
❸横のつながり、縦のつながり、ともに大切だと感じています。人が出会い、つながりを持つことから、関わりがはじまります。できるなら自らの手でそのつながりを大切にし、関わりを広げていただきたいと思います。多くの先輩はその求めに応じて協力をしてくれます。ぜひ同窓の縁を大切にしていきましょう。

1977
改　組
- カウンセリング・センターを「淑徳大学社会福祉研究所」に改組

中西 晴之さん
1976年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）試行会横浜市青葉区勤務

❶ノーマライゼーション思想が世界に広がり始めた年に卒業し、最初の職場は統合保育でした。その後、知的障がい者施設に転職し、神奈川初の「障害者のパン屋」と横浜初の「障害者の喫茶店」を備えた通所施設設立に関わりました。その後も全室個室の入所支援施設等の開設など福祉実践を求めてきました。
❷良信先生の意志を継ぎ、福祉への強い思いを持った先生に恵まれたと思っています。厳冬の学生運動のさなか、誰かが汚した良信像を、大学に反抗していた者たちで流し落としていた頃が忘れられません。大学と学生が対立したあの時も良信先生は双方に共通する精神的支柱だったのだと思います。
❸私の施設に自分で歩くことも話すこともできないユウヤがいます。でもユウヤは「おはよう」と声をかけると満面の笑みを返し私の心を揺さぶるのです。「共に生きる」ことの核心はここにあります。バトンを受け継ぐ後輩たちの姿に良信先生は昔も今も優しいまなざしでエールを送ってくれると思います。

1978

直井 修一さん
1978年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）飛山の里福祉会勤務

❶宇都宮市と真岡市で、障がい系と高齢系の施設等を五か所程展開しております。利用者様の暮らしも福祉施設としての役割・機能も"地域と共に"の方向性で、且つこれからの街づくりへの橋渡し役として貢献をして参ります。今年度から「栃木県社会福祉法人経営者協議会」の会長職を拝命しました。不易流行の言葉の下に、社会福祉法人の存在意義を高めていく所存です。
❷同窓生との繋がりに恵まれ、数年前「同窓会栃木県支部」の立ち上げに参加でき、現在評議員を仰せつかっております。支部ができたことで学長並びに教授にも来県頂き、講義・研修会を開催できるようになりました。同窓生との新しい関係性の構築は、素晴らしい刺激です。
❸人は他の人との関係性の中でしか生きられません。福祉の仕事を始めとする人を相手にする仕事は、「一人ひとりの人を大切に育む」という文化を発信しています。他者との関係性が薄れゆく社会の中、文化を発信していくこの職場にさらに誇りと希望を見出してください。

1979
開　催
- 第14回日本仏教社会福祉学会開催

門田 光博さん
1979年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）愛媛県社会福祉事業団
ほほえみの里しげのぶ清愛園勤務

❶現在の社会福祉法人に今年で31年目になります。仕事内容は、知的障がい者の入所支援・生活介護を担当しています。週末の休みには、高校・大学と親しんでいたラグビーを地元の小学生に教えており、忙しくも充実した毎日を送らせて頂いています。現在、実家で両親・妻・娘4人の8人家族で生活しています。
❷大厳寺会館学生自治寮で、入学から卒業までの4年間お世話になりました。当時お世話になった淑徳関係者の方々、地域の方々、愛媛県や四国の卒業生の先輩後輩と、お互い行き来しながら交流を継続しています。愛媛松山にこられた際は、ご連絡いただければ淑徳関係の皆様と交流したいと思っています。
❸『共生』という言葉に出会えたこと。最近よく聞く言葉ですが、開学当初から一貫して流れている理念で、今思えば、時代の先取りの言葉ではなかったでしょうか。今後も、その言葉を日々実践できるよう仕事や地域活動に活かし、自分を成長させたいと考えています。

1980

朝日 敏倖さん

1980年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
調布市社会福祉協議会勤務

❶ 障がいのある方々の授産施設勤務から、精神障がい者の相談支援やデイサービス・就労支援、被災された岩手県の復興支援活動を経て、現在知的障がい者の生活介護型施設の施設長をしています。休日は誰でも参加できるディスコパーティーを毎月開催しています。

❷ 今はなき第一男子寮で暮らしながら、大巌寺とキャンパス内の講堂で剣道の稽古に励んでいました。ある時、お寺の境内の掲示板の「白は白　黄は黄のままに　咲く野菊　とりかえられぬ尊さを咲く」と長谷川先生が書かれた言葉に目が留まり、それ以降座右の銘として大切に胸に刻んでいます。

❸ 苦楽を共にした学友と、アルバイトで得た小銭を握り通った定食屋。嵯峨の煮込み定食。丸栄のとんかつ。まきのランチ。泣いたり笑ったり、時には議論が高じて掴み合いになったり…淡い恋もありました。何をするのも全力でした。

今の仕事で行き詰った時のもうひと踏ん張りは、きっとあの時に培われたのだと思っています。

1981

創　刊

- 淑徳大学就職情報誌『翔』を創刊

杉山 正彦さん

1981年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
神奈川県逗子市
福祉部保育課勤務

❶ 卒業して神奈川県逗子市に採用され、清掃工場でのゴミ問題や基地対策等を含めて、障害福祉、生活保護等福祉部を中心に様々な仕事をさせてもらいました。現在は保育課に属しており、保育所の待機児童対策と学童保育、そして今年4月から施行された「子ども・子育て支援新制度」の導入と運用に悪戦苦闘しています。

❷ 在学中は、基礎ゼミの仲間達とボランティアサークル「ドルフィンズ」を作り、「全社ゼミ」に属し、学生生活を謳歌しました。就職して学生時代に学んだ学問はともかく、このような環境で培われた「何が問題なのか深く考えようとする姿勢」は、大いに役に立ってきました。

❸「福祉」という生活に密着した問題をこのようなアットホームな環境で学べたことは、私のルーツとなっています。21世紀となり自己責任が強調される一方、福祉制度は個人として「福祉サービス」を受ける権利性が高まりました。笑顔で豊かに生きることができる社会となるよう一緒に頑張りましょう。

1982

開　催

- 第一回 臨床福祉研修セミナー開催

安藤 千晶さん
（設楽）

1982年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）静岡市社会福祉協議会勤務

❶ 今年度施行された、生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者事業の中で総合相談支援を行っています。福祉制度に位置づけされていない生活に困窮している方々を、最終的には就労を目指すことができるように支援していきます。制度がほとんど無い中で、いかに社会資源をつくりあげていくのか…とてもやりがいのある仕事です。

❷ 学生時代、軟式庭球部に所属していました。その頃の仲間とは現在も交流が続いています。この9月には、卒業以来、同期生で初めて温泉旅行に出かけました。みな、年をとりましたが…。同じ時に学生時代を過ごした仲間と現在も交流できることは幸せだと思います。

❸ 私が淑徳大学に入学した当時は、現在のように福祉大学が多くなかったため、淑徳大学には全国から学生が集まってきました。自分の知らない他県の文化を知ることができ同窓を通じた人と人とのつながりが、支援の要する方への支援に結びつくことがあり、とてもありがたいことだと感じています。

1983

岩崎 まり子さん

1983年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
特定医療法人社団
潤恵会敬仁病院 勤務

❶ 障がい者職業センターにて、障がいをもたれた方の就労のお手伝いを10年弱続けました。その後、高齢化が進む時代においてそれに関わる仕事を、と転職、介護職を養成する教育事業の仕事に携わり約10年。現在は、足立区にある敬仁病院で、これまでの仕事を活かし、ソーシャルワーカーとして勤務しています。

❷ 軟式庭球部でのサークル活動を、下手ながらも4年間継続したことで色々な経験ができました。1・2年生は参加が伝統だと言われエントリーした、体育祭のマラソンでは2年連続1位。新しくできた更科のグラウンドを出てから戻るまで、先導するバイクの後を追いかけ独走。とても良い思い出です。

❸ 仕事を通して、またプライベートで、たくさんの人に出会ってきました。利用者様から貴重な話を伺ったり、お得意様からお叱りをうけたり、会社を変わっても友人関係が続いたり。生きていく上で、人と人との繋がりは欠かせないものです。出会いを大事に学生生活、社会人生活を送ってください。

1984

竣　工

- 千葉キャンパス更科総合グラウンド竣工

齋藤 ひかるさん

1984年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
秋田市役所勤務

❶ 秋田市役所に入所し、生活保護や障がい福祉を担当し、数々の業務を経て平成20年度には後期高齢医療制度のスタートに携わりました。平成22年度からは児童福祉関係を担当し、現在は「子ども未来部子ども育成課」の課長補佐として、中間管理職の悲哀を日々味わっています。

❷ 学生時代は「漫才勤勉クラブ」と「陸上競技部」に所属していました。当時の仲間が、静岡からわざわざ秋田まで訪ねて（お酒を飲みに？）きてくれたり、千葉や福島から秋田のマラソン大会に来てくれたりと交流が続いています。また、同窓会秋田県支部の事務局長として、総会と称した「飲み会」を開き、秋田県内の卒業生と交流しています。

❸ 私自身、学生時代の仲間（先輩・後輩）はもちろん、同窓会活動などを通じて多くの卒業生と出会い、公私共に助けていただいています。在学生の皆さんには、淑徳大学での仲間との出会いを自身の財産にするとともに、卒業後はぜひ同窓会活動にも参加していただきければと思います。

1985

竣　工

- 千葉キャンパス2号館（記念館）、3号館（研究棟）竣工

相蘇 知美さん

1985年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
北海道旭川養護学校 勤務

❶ 大学4年生の夏休み明け、皆はもう就職が決まって中、私は就職活動をまったくしていませんでした。ただぼんやりと「養護学校の教員になりたいなあ…」と…。地元北海道の教育大学の専攻科を経て、教員になりました。新井先生や宇佐川先生の偉大さを現場に出てから知り、淑徳の卒業生であることを誇りに思いました。

❷ 北海道から千葉に行くということは、人生の大冒険でした。下宿先では現在淑徳の教授になられた米村美奈先生と運命の出会いを頂きました。むろん今も人生の友です。そして丹羽聡美さん…彼女のピュアなまっすぐな優しさに感動したことは今でも変わりません。淑徳での出会いは私にとっての大切な人生の宝物です。

❸ あの時18歳だった私たち…今48歳です。自分がちゃんと大人になれたか、ちょっと疑問ですが…。若い今現在淑徳で学んでいる皆さん、その学びを通して、平和を守っていける社会を一緒に作っていきましょう。後輩の皆さん方、期待しています！

1986

20周年記念

- 開学20周年記念式典挙行
- 第一回ブラジル派遣研修実施

安部 晴美さん
（内野）

1987年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
千葉みなとリハビリテーション病院勤務

❶ 当病院では、脳卒中や骨折などにより生活機能が低下した方々が、機能回復、日常生活動作を獲得し、再び在宅復帰できるようにリハビリテーションを提供しています。私はソーシャルワーカーとして退院支援を担当しています。院内の連携はもちろんのこと、家族、地域の医療・福祉機関と連携をはかりながら、患者様の安心した生活にむけて支援を行っています。

❷ 同期の専門職仲間とは、研修会等を通じて地域事情や福祉情報などを共有し切磋琢磨しています。現職場ではやさしい後輩たちと共に、患者様の支援に取り組んでいます。在学中互いに対人援助に関する基本的な知識と技術を学んでいるので、業務上は相談をしたりされたりの関係です。

❸「相手を信じること」、「相手に寄り添うこと」といった相手と関わる姿勢は、在学中の経験から体得したものです。現在もなお、業務を遂行する上で常に意識しています。大学在学中の自由な時間を、ぜひ有効に使い、実り多きものにしてください。

1987

山嵜 知洋さん

1987年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
新潟県済生会三条病院勤務

❶ 病院の医療ソーシャルワーカーとして採用され、福祉相談室で患者さんの様々な相談に対応しました。併設の介護老人保健施設では入所や通所リハの支援相談員業務や介護支援専門員業務を経験しました。現在は総務課に勤務しており、相談室とはまた違った立場から病院の在り方や地域貢献というものを考えています。

❷ 夜間や休日の時間を活用してのアルバイトは、良い思い出となっています。スーパーの店員、ビル清掃、パン工場、運転代行、CDレンタル店、鉄道工事など、様々な分野で働く機会がありました。失敗も沢山ありましたが、やりがいや喜びも多く感じることができ、その経験は私を成長させたと思っています。

❸ 医療や福祉を取り巻く環境は大きく変化を続けています。あらゆる領域で様々な取り組みが行われていますが、決して全てが解決されることはなく、課題が尽きることはありません。一人ひとりの学びや実践が、より良い社会を創造する力になると信じています。

1988

開　催

- 第15回日本犯罪社会学大会開催

野口 真理さん

1988年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
多古町役場 多古町地域包括支援センター 勤務

❶ 直営地域包括支援センターに勤務し、住民の皆さんの相談にあたっています。経済基盤が弱く様々な困難を抱えている家庭も多いため、高齢者の方と障がい者の方の相談窓を一本化して対応しているところが特徴です。相談内容は多肢に渡りますが、他職種チームの強みを生かし毎日の仕事にあたっています。

❷ 学生時代は、自分のためだけに使える時間が沢山ありました。ボランティアもしていましたので、夏休みはキャンプカウンセラーとして子ども達を連れ長野県の牧場まで行っていました。大学卒業後長い期間が過ぎましたが、学生時代を一緒に過ごした友人は、やはり特別な存在です。

❸ 皆さんは今、様々な経験や体験をして社会に出て行くところです。大学では、様々な出会いや経験があり、自分を形成する大事な時期です。人生には回り道もあり、どれが正解となるかは自分自身の考え方一つですが、皆さんも今を思いっきり楽しみ、自分のやりたいことに向かって頑張ってください。

1989

大学院開設

- 大学院
  社会福祉学研究科開設

峯田 恵理子さん

1989年 入学　社会福祉学部
社会福祉学研究科教育課程 卒
（社）多摩同胞会 養護老人ホーム
信愛寮 勤務

❶ 卒業後、東京都府中市にあります社会福祉法人「多摩同胞会」に入職し、高齢者の在宅サービスを経験。その後、ケアマネージャー、特別養護老人ホームの相談員を経て、現在は養護老人ホームの相談員をしています。制度がめまぐるしく変化していく中で、変わらないのは「困っている方々のお役に立ちたい」という気持ちです。

❷ 在学中は、能楽部と茶道部に所属していました。そこで学んだ所作や日本の文化などは、今でも活かされています。また、4年生の時、欧州研修に行ったことは、現在の仕事にとても役立つこととなりました。いつの時も仲間と一緒に楽しく学び、遊んだことが思い出されます。

❸ もともと教師を目指していたのですが、4年生の時に経験した現場実習で特別養護老人ホームに実習に行くこととなりました。そこで「これからは高齢者福祉の時代だ！」と目覚め、高齢者施設に就職することになりました。「あの時に視野を広げて勉強させてもらってよかった」と今でも感謝しています。

1990

福祉研修旅行

- ヨーロッパ社会福祉研修旅行開始

佐藤 愛子さん

1990年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
（社）知的障がい児通園施設勤務

❶ 私は、現在自治体の指定管理のもとで運営されている知的障がい児通園施設（社会福祉法人）で働いています。発達障がいや重度重複障がいの診断を受けている子ども達も通園しています。卒業後、言語聴覚士の資格を取り、言語・コミュニケーション・聴覚・摂食や嚥下の領域の発達支援に取り組んでいます。

❷ 先生方をはじめ、先輩や同級生や後輩の皆さん、本当に沢山の出逢いのあった4年間でした。龍澤祭や実習や合宿など、同じ目的・目標を目指して取り組んだことや、それぞれが持っている熱い想いに多くの刺激を頂いて、全力投球で、笑ったり泣いたり語り合ったりして過ごしたことです。

❸ 臨床の場で出会う子どもやご家族からの学びは尽きません。しかし、福祉の基本理念や支援者としての在り方について、立ち返るのは常に大学での学びです。沢山の出逢いを通して学ぶことの出来る学校であるということ、そして、心理コースや発達臨床発達研究センターなどで貴重な実習ができたことです。

1991

設置認可

- 社会福祉学部社会学科設置認可、社会学科設置に伴い学部名称を社会学部に変更
- 淑徳大学主催シンポジウム「福祉の中の医学と教育」

尹 錦姫さん

1991年 入学
社会福祉学部 社会福祉学科 卒
霊山禅学大学校（韓国）勤務

❶ 2000年に帰国してから、社会福祉現場の運営委員や職員教育などを通して福祉現場との繋がりを大切にしながら、円仏教の聖職者を養成する大学で社会福祉を教えています。また、住んでいる地域が抱えている社会問題（女性人権差別/原発問題）に対しても社会福祉人の立場から積極的に参加しています。

❷ 留学生として入学したので言葉の問題や日本の大学生文化などに戸惑いもありました。留学生担当の先生や職員の皆さんのお助けを得て留学生会を作り上げたことやゼミの先生に誘われゼミ仲間たちとインドネシアまで行き社会調査を行ったこと、また、それを活かし卒論を書いたことなどは忘れられない思い出です。

❸ 皆さんにどんな言葉を贈っても、既に何度も聞かされた言葉になるでしょう。だから、後輩の皆さんへというよりは学生時代の自分へ向けてメッセージを送ります。「昨日の私より今日の私に自信ある私になろう」昨日の淑徳人より今日の淑徳人、明日の淑徳人に自信を持ちましょう。

1992

竣　工

- 千葉キャンパス４号館（図書館棟）、７号館（講義棟）竣工

小林 真弓さん
（吉田）
1992年 入学
社会学部 社会学科 卒
(株)エール勤務

❶ 卒業後、塾勤務を始めて19年になります。家族や会社の理解のおかげもあり、育児中ですが仕事も続けられています。今年から子どもが幼稚園に入園し、日々成長していく姿を逞しくまた微笑ましく感じながら毎日お弁当作りに奮闘中です。楽しみながら親としても成長できたらと思いつつ、子どもたちと毎日賑やかに過ごしています。

❷ ＳＰＴＣというテニスサークルに所属していました。合宿も試合も全力投球で、当時の写真の黒光りした日焼け顔に思わず苦笑いです。また先輩に誘われて福祉学部のゼミ修学旅行に参加し、ハワイの幼稚園や老人施設、大学を見学しました。テニスを通して多くの仲間ができ、色々な経験ができたことは私の財産です。

❸ 私が社会人、そして親になって感じることは「もっと時間が欲しい」ということです。時間と友達と学生証がある今だから「やりたい・知りたい・試したい」ことに積極的に取り組んでください。それは自分を成長させ自信となってこの先の人生に大きく役立つことでしょう。

1993

古田 勝弘さん
1993年 入学
社会学部 社会福祉学科 卒
(株)ユニマットそよ風
さいき長寿苑そよ風勤務

❶ 淑徳大学卒業後、大分市の医療法人謙誠会に９年間勤務。デイサービスの生活相談員、精神科デイケアの援助員を経験しました。その後、地元の大分県佐伯市に戻り現在の職場にてデイサービスの管理者、グループホームの管理者等をさせていただき、現在は特定施設の管理者をさせていただいています。

❷ 淑徳大学時代、硬式野球部に所属していました。素晴らしい指導者、先輩・同期・後輩に恵まれ、４年生の時は主将をさせていただきました。色々な県から集まった仲間たちと４年間過ごす事で、色々な分野の視野を広げることができました。

❸ まずは仕事です。大学卒業後介護の現場で利用者を楽しませることに喜びを感じる事ができました。その後、運営にも携わる仕事をさせていただくようになり、日々勉強しています。もうひとつは家族です。縁あって大学の同期と結婚しました。子供も３人でき、家族５人幸せに過ごしています。

1994

スクールバス開通

- 千葉キャンパススクールバス開通

松田 修一さん
1994年 入学
社会学部 社会学科 卒

❶ カナダへの語学研修留学より帰国し、航空関連企業に入社、その後、国際物流の外資系企業に６年間務めておりました。現在、第２の人生として、今まで培ってきた経験と知識を生かし、児童養護施設にて児童指導員として、自立を控えた児童の過ごす地域小規模ホームの責任者をいたしております。

❷ 思い起こせば多くの人たちに支えられ現在に至っておりますが、思うように時間が取れず、ほとんど交流していないというのが現状です。当時の空手道部の先輩方と、ＳＮＳを通してメッセージのやり取りをすることはありますが、みなさん家庭がおありですので各々忙しいようです。

❸ 私は現在、児童養護施設の児童に対し「１日24時間、１年365日は、すべての人間にとって平等である」と説いております。決められた時間の中で、自分自身をどこまで高められるか、成長させることができるかが社会において自分の場所を作ることの鍵になります。自分の手で作り上げ、掴み取っていってください。

1995

大学院開設

- 大学院社会福祉学研究科博士課程（後期課程）を開設
- 第５回日本家族社会学会大会開催

高山 幸一さん
1995年 入学
社会学部 社会福祉学科 卒

❶ 語学教材の開発・販売・研修を行う企業にて、マーケティング・広報関連の業務を担当しています。また、当社では教育委員会や大学への英語学習者・英語指導者支援を行っています。指導者と共に教育課題の解決に取り組む一方、マーケティング・広報担当として、解決の一助となる情報を提供しております。

❷ 初の天津大学短期留学が開催され、１期生として参加したことが一番の思い出です。当時、高齢者福祉に興味があった一方、第二外国語の履修、サークル活動、そして当大学でお世話になった恩師との交流を通じて中国や中国語に大きな関心を抱いていました。そんな中で開催された短期留学での経験はその後の人生の転機となりました。

❸ 新しいことにチャレンジし続けることは皆さん自身を成長させるだけでなく、よりよい社会創りへの貢献となります。そして、「いつやるの？」「今でしょ」そんな言葉が流行りましたが、何か興味ある物事を見つけたら、一心不乱に取り組んでみてください。

1996

埼玉キャンパス設置

- 埼玉キャンパス設置 社会学部社会学科開設
- 国際コミュニケーション学部経営環境学科・文化コミュニケーション学科開設（埼玉県入間郡三芳町）
- 大学院社会福祉学研究科（社会学専攻修士課程）開設
- 国際コミュニケーション学会発足
- 千葉キャンパス10号館（大学院・複合施設棟）が竣工

泉 江梨子さん
1996年 入学
社会学部 社会学科卒

❶ 10年前からよさこいソーランを踊るチームに所属しています。見てくださる方々を笑顔に、地域を元気にすることを目的に、地域のお祭りや介護施設で演舞を行っています。お年寄りの皆さんは、嬉しそうに手を叩いたり、中には涙を流してくれる方もいます。その一時の笑顔を見ることが、踊り子としての大きな喜びです。

❷ 基礎ゼミのクラス仲間を中心に、10人以上の淑徳出身者と友人関係が続いています。卒業してからも食事や旅行はもちろん、それぞれの結婚式など幸せな時間を共有してきました。淑徳出身者同士で結婚した友人もいます。集まる回数は減りましたが、毎回ほぼ全員が集合できることは、とても嬉しく思います。

❸ 入学時、大学では友達をたくさん作りたいという希望がありました。実際にはたくさん…とまでは行きませんでしたが、先に書いた通り卒業して15年経った現在も交流のある友達ができました。彼らはもちろんのこと、今は会わなくなってしまった友達も皆、かけがえのない存在です。

坂牧 有貴さん
（越村）
1996年 入学
国際コミュニケーション学部
経営環境学科 卒
(株)SRA勤務

❶ 卒業後はシステムエンジニアをしております。淑徳で出会ったバーンゴルフでは世界選手権大会等に出場しております。また、アジア連盟の Sport Director を務めており、世界連盟 Technical Committee の会議への出席や、アジアの底上げに努めています。来年は日本でアジア選手権大会が行われるので、盛り上げていきたいと思います。

❷ 部活や生協、クリスマスイベントの設立等、自分達で創っていったという実感があります。少しでも興味がある事は挑戦してみようと思い、色々なサークルの活動を行い、留学も経験しました。バーンゴルフ部の活動では海外遠征もさせて頂き、私の人生において貴重な経験となりました。

❸ 今のうちに様々な事に挑戦し、経験してください。きっと、今後の糧になってくる事でしょう。特に、長期間ないとできない事を学生のうちにやっておくと良いと思います。長いようで短い学生生活、楽しく有意義に過ごし、目いっぱい楽しんでください。

1997

開　催

- 第２回環境教育フォーラム開催

奥川 雅通さん
1997年 入学
社会学部 社会学科 卒
(株)ナイキジャパン勤務

❶ 直営店での店舗責任者を担っています。80名以上の部下がいる大きい店舗を任され、忙しくも充実した日々を送っています。２０２０年には東京オリンピックが開催され、スポーツカンパニーとしては絶好の機会がやっていきます。自分自身のさらなるステップアップを目指し努力する日々です。

❷ 卒業論文に〝日本サッカー界がなぜ強くなれないのか？〟という突飛なテーマで臨みましたが、歴史的背景・文化・経営などあらゆる社会学を落とし込んだ内容で書き終える事ができました。ひとつのテーマから答えを導き出す時に必ずしもプロセスはひとつではないという事、物事を多角的に捉える柔軟性が芽生え、まさに義務教育とは違う大学生らしい勉強の成果が出た年代と振り返れます。

❸ 大学生であるうちに学生らしく充実した日々を過ごして欲しい！ただ、それだけです。卒業してから15年が経ちますが、この夏にテニスサークルティファニー初の大同窓会を開催できたのも大切な仲間があってこそです。

小畑 智一郎さん
1997年 入学
国際コミュニケーション学部
文化コミュニケーション学科 卒
(株)アーク・コンサルティング・ジャパン勤務

❶ 取締役統括本部長として、24時間年中無休の「小町食堂」を都内に８店舗経営しております。「小町食堂」は60品目以上のおかずを陳列ケースに並べ、お客様が自由に選んでいただくシステムです。健康の管理、ダイエットなどお客様の体調や気分に合わせて選べますので毎日来ても飽きません。安全、安心、健康、温もりを大事にお店作りを進めております。

❷ 合唱部「グリークラブ」に所属しながら、音楽系サークルを数々設立しました。学生がもっと活躍できる場をと「サマーナイトフェスタ」を初代代表として開催。４年次には、「サークル連合」を設立し初代代表を務めました。サークル活動を中心とした有意義な学生生活を送りました。

❸ 自分の仕事に誇りと自信をもっていればどんな仕事でも大丈夫です。環境や待遇を優先しがちですが、やりがいや自己の成長をさせてくれることを第一に企業をお探し下さい。まじめに一生懸命仕事をしていれば会社は見てくれています。

1998

名称変更

- 大学院社会福祉学研究科を社会学研究科に名称変更
- 社会学専攻博士課程開設

松田 泰子さん
（富田）
1998年 入学
社会学部 社会学科 卒

❶ 物流業界で働き10年になります。現在は、仕事を続けながら、２歳の娘の子育てに追われています。主人と協力し子育てをする中で、日々成長する娘の姿に喜びを感じています。時間に追われ、慌ただしい毎日ですが、妻として、母として充実した生活を送っています。

❷ 卒業後、14年ほど経っておりますので、頻繁に学生時代の友人と会うことは困難ですが、学園祭の度にゼミの同窓会が開催されるので、毎年の楽しみとなっています。それぞれの人生を歩む中、同窓会は、恩師・友人との再会の機会、学生時代の思い出を語り合える場となり、当時を懐かしみながらも、多くのことを吸収できる良い機会となっています。

❸ たくさん勉強してほしいと思います。私自身、社会に出てから、学生時代の時間を大切に使えなかったことを反省し、時間の大切さを痛感しています。自分の為だけに使える時間があるのは、学生の時だけです。限りある時間を有効に使い、自分を磨いてください。そして自分の価値を高めてください。

麦島 朋さん
1998年 入学
国際コミュニケーション学部
文化コミュニケーション学科 卒
ポップリベット・ファスナー(株)勤務

❶ 卒業後に入社した、ポップリベット・ファスナー株式会社に現在も勤務しています。家電製品などを取り扱うメーカーです。入社当時は、全国のお店で自社製品の実演販売に明け暮れ、その後にマーケティング業務などの経験を経て、現在は営業担当として奮闘中です。

❷ 在学中、海外ボランティアで中南米のコスタリカへ行きました。他の国々から集まったボランティアメンバーや、現地スタッフなど地元住人との交流は、学ぶ事が多かったです。その時に芽生えた感性は、実生活においても影響がありました。そのくらいの素敵な出会い、体験や経験がありました。

❸ 大学時代は、大学内外、老若男女を問わず、様々な人と出会うこともできました。大学教授、事務職員の方々、先輩、後輩や同期などにも恵まれました。おかげで、楽しい学生生活を過ごしながら、自分自身を見つめ直す、良いきっかけにもなり本当に大切な思い出です。

1999

学会開催

- 第29回日本レジャー・レクリエーション学会開催
- 国際コミュニケーション学会第１回大会開催

橋本 奈七子さん
（名田）
1999年 入学
社会学部 社会福祉学科 卒
新潟県厚生連真野みずほ病院勤務

❶ 佐渡島にある唯一の精神科病院に就職し、精神保健福祉士として働いています。新患へのインテーク面接、入院患者の退院支援（相談援助、カンファレンス・ケア会議の実施、退院前訪問等）、通院患者への支援（相談援助、訪問看護、関係機関との連絡調整等）など様々な業務を日々行っています。

❷ 地元に戻り友達とは頻繁に会うことはできなくなってしまいましたが、交流が今でも続いている人はたくさんいます。同職種に就いた友達とは仕事で悩んだとき相談しあえる関係が続いています。仕事に就いてから知り合った方もたくさんおり、職能団体の研修会等で親しくしています。

❸ 一期一会、全ては人との出会いです。家生活で家族同様の楽しい仲間、サークルでは年齢を超えて先輩・同級生・後輩との出会い、資格取得のためのコースでは授業・演習・試験勉強等で協力し合えましたし、ゼミでは自分探しの仲間と大切な時間を過ごしました。いま、ここでしか出会えないかけがえのない友人ができました。

斉藤 悟さん
1999年 入学
国際コミュニケーション学部
経営環境学科 卒

❶ 大学を卒業して10年経ち結婚し、翌年に娘が生まれて現在１才になります。風邪もひかずにすくすくと成長しております。自分の子を見ていると、学生時代にはなかった感情が芽生えて自分自身おどろいています。これからも成長することを忘れずに家族を大切にしていきたいと思います。

❷ 学生時代はテニスサークルに所属しており、現在でもサークルのメンバーとテニスや遊びに行くなど交流があります。サークルメンバーの結婚式や、自分の結婚式の時も多くのサークルの方々に連絡を取り合ってたくさんの卒業生や在校生が出席するなど、今でも大学の時と変わらない関係が続いております。

❸ たまに会ったときでも大学時代そのままの時間に戻っているように錯覚を起こす位の関係でいられる多くの良い先輩方や後輩に巡り会えたことです。淑徳大学に入学しなければこのメンバーに出会えなかったと思います。

2000

大学院開設

- 大学院国際経営文化研究科開設
- 千葉キャンパス 11 号館（学生厚生棟）竣工

園城寺 真人さん

2000年 入学
社会学部 社会学科 卒
千葉警察勤務 警察官

❶ 千葉県県警察は、安全で安心できる県民生活を確保するために約12,500人の職員が日夜活動しています。犯罪の抑止・捜査、犯人逮捕、交通指導・取締り、災害対策、少年の非行防止など職務は多岐にわたっています。得意な分野や興味がある分野で、あなたの活躍する場所が必ず見つかります。皆さんと共に仕事ができる日を楽しみにしています。

❷ 海外語学研修（天津大学）が強く印象に残っています。覚えたての単語や文法がなかなか理解してもらえず、身振り手振りでの悪戦苦闘の日々。現地で20歳の誕生日を迎えた私にとって、異文化交流は大人になった自分自身への挑戦であり、生まれ育った日本を見つ直す視点を養った貴重な経験です。

❸ 近い将来社会人となり、あらゆる分野で活躍する皆さんにとって、在学中に築いた友人関係や取得した資格などは、自分を支える糧となります。失敗を恐れる事無く、何事にも挑戦する気持ちを忘れないでください。皆さんを支えてくれる方々がすぐそばにいます。

梅原 亜美さん
（関上）

2000年 入学
国際コミュニケーション学部
経営環境学科 卒
専業主婦

❶ 学生生活の中で学んだ経営学は、社会に出てから接客・販売の仕事に就いた私にとって、とても役立つものとなりました。店舗売上、その月や年度の達成予算など、ただの販売員という感覚ではなく、この会社の一員という意識を持って「企業経営」に関することに目を向け、自身の仕事に責任を持って向き合うことができました。

❷ なにより学生生活の中で、大切な仲間と出会えた事は今も私の財産となっています。チアリーダー部、サッカーサークルに所属し、色々な仲間との出会いの中で、「教わる」「教える」、「発言する（意見をはっきり言うこと）」、「応援する」、「思いやる」など、今思えば社会に出てからの自分に大切なことがたくさん学べたと思います。

❸ 学生生活の中で知識修得はもちろん重要ですが、何かを感じて実行することも私は同様に重要だと思います。

2001

開　設

- 社会学部心理学科開設
- 千葉キャンパス 12 号館（教育・研究室棟）竣工

加藤 大さん

2001年 入学
社会学部 社会学科 卒
岡谷電機産業（株）勤務

❶ 新卒入社した会社は、今年で勤続10年を迎えました。営業職として担当顧客を訪問し、行う面談回数は5,000件を超え、年間売上金額では目標とする3億円を超える成果を上げています。社会人としての成果は、人と協力する事により成し得ると、今まさに学んでいる最中です。

❷ 学生時代は、自分に自信が持てず人よりも劣っていると感じていました。その劣等感から他の誰よりも学業・バイト・交友関係で良い結果を出そうと毎日必死であった事を覚えています。そういう中、肩の力を抜く事が出来たのは『自分の事を分かってくれる』仲間・恩師と出逢いがあったからこそでした。

❸ 私自身、淑徳大学に入学して一番の財産は、人との出逢いです。どんな状況であっても人は変われるし、今ここから人生を切り開いていけると信じています。社会に出て直面した苦悩も、自身の劣等感も、解決のきっかけを与えて下さったのは恩師であり仲間です。私自身も皆さんと共に成長し続けていきたいです！

木下 直子さん
（守屋）

2001年 入学
国際コミュニケーション学部
経営環境学科 卒
（株）エトワール海渡勤務

❶ 3年前に結婚し、元気で活発な2歳になる娘がいます。家庭と仕事の両立は想像以上に大変なものでした。精神的に強くないと、女性・妻・母としての顔を保てない、そう感じました。1年が経過し生活リズムを確立する事が出来始め、スムーズに毎日を過ごせるようになりました。

❷ 学生時代は、学校行事に携わる事が多く、アドミッションオフィスでの学生案内や、環境ボランティアサークルで多くのイベントに積極的に参加していました。ゼミの北野先生をはじめ、職員の方、同級生等に恵まれたことに感謝しています。

❸ 学生という特権を生かし何事も臆せず、その時にしかできない経験を沢山して下さい。恐れずに何にでも挑戦して下さい。その中から自分の強みになる事を1つ身につける事で、必ずや将来の成功に結びつきます。自分の道を切り開く力を身につけ、有意義な学生生活を過ごして下さい。

2002

推進事業

- 私立大学学術高度化推進事業、オープン・リサーチ・センター事業「虐待現象の総合的研究」採択

齊藤 有子さん

2002年 入学
社会学部 心理学科 卒

❶ 淑徳大学で4年間心理学を学んだこと、サークル活動で児童福祉施設に通ったことが、虐待や発達障がいの児童に携わる職を選んだ現在の自分に繋がっています。ここ数年でさらに周知されることになった児童虐待や発達障がいについて、子どもたちの発言や表れから気付かされることの多い毎日です。

❷ ゼミで2年間共に学んだ仲間とは、今でも毎年集まる機会を設けています。ゼミ合宿での思い出、休講になったときの過ごし方、卒論の苦労話し、卒業旅行で行ったヨーロッパの思い出…等々、仲間と会うと当時の話しで懐かしんだり盛り上がったり。会う機会も存在自体も大切にしたい仲間です。

❸ あれだけ自由に時間が使えるのは大学時代の4年間だけです。経済的な自由が増えるのは社会人になってからというのは当然ですが、時間の自由はそれ以上の贅沢です。今だからできること、現在周りにいる仲間とだから一緒にやりたいこと、たくさんの可能性の中から自分で見極めて、充実した学生生活を創ってください。

猪又 和美さん

2002年 入学
国際コミュニケーション学部
文化コミュニケーション学科 卒
（株）ヴァンドームヤマダ伊勢丹
新宿本店勤務サブチーフ

❶ 卒業後、（株）ヴァンドームヤマダに就職し、ジュエリーアドバイザーとして働いております。現在、伊勢丹新宿本店のサブチーフを務めております。4ブランド、20名のスタッフの大所帯の中、色々な刺激を受け、勉強をしながらやりがいを感じております。

❷ サークルには所属せず、アドミッションスタッフの仕事をしていました。色んな繋がりから、知り合いもどんど増え、沢山の仲間と出会うことができました。学生時代の友達、先輩、後輩など、結婚式で再会したことをきっかけに、再び集まるようになりました。出かけたり、BBQしたりなど、10年経っても当時のままアクティブです。

❸ 今でもつながっている仲間に出会えたことが、淑徳大学に入学して良かったところです。同学年だけでなく、全ての学年で仲良く、何かあるときには皆で助け合ったり、お祝いしたりなど、大人になった今でも、当時のままでいられることを嬉しいことだと思います。

2003

開　設

- 国際コミュニケーション学部経営環境学科を改組し、人間環境学科と経営コミュニケーション学科を開設
- 大学院社会学研究科心理学専攻開設
- 千葉キャンパス 13 号館、埼玉キャンパス 4 号館竣工
- 三芳町と淑徳大学との連携合意書締結

永松 明希さん
（鬼原）

2003年 入学
社会学部 社会福祉学科 卒

❶ 卒業後、二か所の通所介護施設で生活相談員として働きました。その後は結婚・妊娠を期に専業主婦になり、現在は二児の母親です。社会人の頃は大学で学んだことを元に「人のために自分にできることは何か」を常に考え働きました。二人の子どもを育てている現在も、その経験は日々自分を支えてくれています。

❷ ゼミでは様々な視点から対人援助や人間関係の築き方を学び、仲間とともに苦悩しながらも恩師のもとでたくさんのことを共有し学びを深めました。本気でぶつかることも多くありましたが、生きていくうえで大切なことと、大切な仲間を得ることができました。

❸ サークル・委員会・ゼミ・ボランティア活動を通してたくさんの人と出会い、様々な経験から社会福祉を学ぶことができました。入学したての頃は漠然と福祉の道を目指していましたが、ゼミの恩師と出会い自分の考えやりたいことを明確にすることができました。

柳 亜由子さん
（菅谷）

2003年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科 卒
共同カイテック（株）勤務

❶ 卒業後、新卒で入社し、営業事務として働いています。現在は営業事務のリーダーという役職を頂き、日々の業務上のフォローや業務改善等を行っています。コミュニケーションの大切さを感じることが多く、いつでも笑顔でいることや、感謝の気持ちを忘れずに取り組むようにしています。

❷ 軟式野球部、ボランティアサークル、学園祭実行委員会、アドミッションスタッフとして活動しました。活動の中で、人に「伝える」・「理解してもらう」ことの難しさを日々感じていたことが思い出されます。本当に大切な思い出であり、また自分を成長させてくれた時間だと実感しています。

❸ 大学生活4年間はあっという間に過ぎていきます。社会人として過ごす今、改めて振り返ると、やっぱりあのときの4年間はとても貴重な時間だったと感じることがたくさんあります。大学生として過ごせる時間を大切にして、「今」しか出来ないことをたくさん経験して欲しいと思います。

2004

開　設

- 池袋サテライト・キャンパス開設
- 埼玉キャンパスクラブ棟竣工

阿部 飛鳥さん
（木村）

2004年 入学
社会学部 実践心理学科 卒
立川市子ども家庭支援センター
発達支援係勤務

❶ 大学院卒業後、静岡恵明学園児童家庭支援センターで心理療法担当を5年間勤めました。保育園や幼稚園の巡回相談を通して、より丁寧な配慮が必要なお子さんのサポートについて先生方と意見交換をすることで、実践を通した見方の学びを重ねる日々でもありました。今年の4月から立川市子ども家庭支援センターの発達相談員として働いています。

❷ 学部時代の友達とは、年に一度ほど集まって互いの近況報告や労いをしています。サークルの友達とは、結婚式で皆が集まったり、夏ディズニーや女子会と名付けた定例の集まりがあるなど、出会って10年以上経った現在も変わらない繋がりがあります。

❸ 大学は色々な人との出会いから刺激を貰える場所です。年齢も境遇も様々な人達と会話を重ねることは、社会に出てからの自分自身の柔軟性に繋がります。何かに息詰まった時ほど顔を合わせて会話をすることを大切にして、出会いに恵まれた4年間だったな～と振り返ることが出来る良い時間を過ごして欲しいです。

髙橋 秀治さん

2004年 入学
国際コミュニケーション学部
経営コミュニケーション学科 卒
（株）ビックカメラ勤務

❶ 2008年に（株）ビックカメラに入社し、現在有楽町店のフロア責任者を仰せつかっております。接客の他レイアウト変更や改善、メンバーの接客力向上などに努めております。多くのお客様にお買い物を楽しんで頂けるよう、そしてまたご来店頂けるような売場作り、そして販売員の教育に日々邁進しております。

❷ アドミッションスタッフの経験が学生時代一番の思い出です。大学の良さを伝えるため他の学生以上に大学を楽しんで、講義で面白いと思ったことを高校生に伝えたり、高校生の立場に立ち、悩みや考えを聴くようにしていました。人に何かを伝える難しさと楽しさを学びました。

❸ 沢山の事に興味、関心を持ってください。自身の中で興味があると思ったことを追求していくと、やがて知識になり、社会に出たとき"自身の強み"として活躍できる可能性が広がります。学生時代はその興味を見付け、知識、強みを作れる大切な期間です。沢山の興味を見付けて下さい。

2005

名称変更

- 社会学部を総合福祉学部に名称変更
- 大学院社会福祉研究科を大学院総合福祉研究科に名称変更
- 千葉キャンパス 14 号館（体育系部室棟）竣工
- ホームカミングデー開始

久徳 雄介さん

2005年 入学
総合福祉学部 社会福祉学科 卒
ニホンハンダ上海勤務

❶ 現在、私は中国の上海で現地工場の駐在員としてハンダを取り扱う会社で仕事をしています。日本とは言葉や文化、習慣などが異なり、ビジネスの面でも様々な問題が生じることがあります。その反面、海外で働くことで得られるものもあると思います。

❷ 夏休みを利用して、中国の天津大学で短期研修に2回参加したことです。海外で1ヶ月も過ごしたことがなかったので、不安もありましたが、現地の学生や先生方、一般の方々までとても親切に接してくれました。言葉や文化に違いがあっても、コミュニケーションをとることでお互いに理解しあえることがあるのだと実感できた研修でした。

❸ 在学中には気にすることは少ないですが、その時、その瞬間でしか得られない経験や人間関係があります。その経験や人脈が、社会に出た際に意外な場面で影響してくる事もあります。些細でも興味を持った事や、貴重な経験のできる機会がある場合には、積極的に触れていってほしいと思います。

八田 友里子さん

2005年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科 卒
（株）ハンプティーダンプティー
勤務

❶ 現在、雑貨店スタッフとして働いております。やっと仕事にやりがいと自信が持てるようになってきました。毎日違うお客様を相手にする接客業は大変なことも多いですが、自分の接客により笑顔になって帰るお客様を見るととても嬉しく、また頑張ろうという気持ちになれます。

❷ 学生時代、サークル活動を通してたくさんの経験ができました。学園祭実行委員では、大学全体を巻き込み、一から学祭を創り上げることができました。自信にもつながり、自分を成長させてくれたと思います。最後の学祭では、沢山の笑顔が見られ、自分も自然と笑顔になったのが思い出です。4年間やってきて本当に良かったなと思えた学祭でした。

❸ 淑徳で良かったと思うことは、サークル活動やイベントを通してたくさんの人に出会えたことです。正直真面目な学生だったとは言えませんが（笑）、イベントには積極的に参加し、繋がりを築きました。大学での経験が、今の仕事にもつながり、人と話すことが自然と好きになりました。

2006

名称変更

- 総合福祉学部心理学科を実践心理学科に名称変更
- 総合福祉学部社会学科を人間社会学科に名称変更
- 中国天津大学と淑徳大学との夏季中国語研修に関する協定締結

小林 沙織さん

2006年 入学
総合福祉学部 人間社会学科 卒
ベネッセスタイルケア(株) 勤務

❶ ベネッセグループの有料老人ホームに入社し、あっという間に6年目になりました。ツライと思うこともしばしばですが、入居者様から「ベテランになったね！」と言われたり笑顔を見せて下さることが増えたりとやりがいも感じられるようになりました。今後も『継続は力なり』という言葉を大切にしていきたいと思います。

❷ 学生時代は弓道部に所属し、体育会の幹部も務めました。皆でイベントを考え運動会などを実施したのはとても楽しい思い出です。ゼミの仲間にも恵まれ、ライブや旅行に一緒に行く親友もできました。今でも仕事の休みを合わせて近況を話し合っています。

❸ ゼミや部活、サークルなどの仲間を作ることは本当に大切です。自分自身、社会人になった今でも連絡を取り合っているのは大学の仲間です。福祉関係の仕事をしている仲間が多いので、会話の中で共有しあえる内容もたくさんあり楽しいです。素敵な仲間と一緒に、楽しく充実した学生生活を送ってください。

小澤 慶太さん

2006年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科 卒
埼玉県入間市立西武小学校 勤務

❶ 埼玉県小学校教諭3年目として、子どもたちと共に過ごしています。今まで、4・6・3年生の担任を経験してきました。このところ現場で変わってきたものがあります。それは、ICT機器の活用で、授業中に電子黒板やPC、プロジェクターを使用することです。分かりやすい授業を展開するため、今後も活用していきます。

❷ 大学時代にバーンゴルフ部に所属し、現在も仲間と共に世界大会出場権獲得のために汗を流しております。年代は20代から70代まで幅があり、様々な会話が飛び交います。その中で学んだのは、人との繋がりです。今後も仲間を大切にし、交流を深めていきます。

❸ 未来へ歩む後輩達へ。4つの「情」を心に留めて下さい。「感情」は、喜怒哀楽。相手に対し、気持ちを表す時に必要です。「愛情」は、人や生きているものを愛する気持ちです。「友情」は、人を大切に想うことです。最後に「情熱」は、何事も最後まで諦めない事です。これからの人生、自信をもち、歩んでください。

2007

千葉第2キャンパス設置

- 千葉第2キャンパス設置 看護学部看護学科開設
- 総合福祉学部実践心理学科を臨床・対人心理専攻及びこども心理専攻に専攻分離
- 国際コミュニケーション学部人間環境学科を人間環境専攻及びこども教育専攻に専攻分離
- 社会福祉法人淑徳福祉会による特別養護老人ホーム「淑徳共生苑」開設

根本 一樹さん

2007年 入学
総合福祉学部 実践心理学科 卒
(株)ケーズホールディングス
(ケーズデンキ) 勤務

❶ 私は家電量販店の販売員をしています。入社して半年は失敗続きで悔し涙を流した事もありました。それでもめげずに努力したお蔭で、旭店内の売上で3位以内に入れるようになりました。現在所属している成田の店舗は規模も大きく、そう簡単に上位には入れませんが自分なりの方向を見つけて頑張っています。

❷ 私は元々喋る事が苦手で根暗で接客業には向かない性格でした。そんな私を変えてくれたのがゼミの仲間です。仲良くはなれても皆と上手く喋る事が出来ない自分をもどかしく思うようになり、苦手だった接客業をあえて選びました。今ではそれを克服でき、これは自分にとっての大きな自信にもなりました。

❸ 中国の語学研修で貴重な体験ができ、またゼミの友達を通じて色んな職種の人と知り合うことができ、いい刺激をもらっています。ゼミの皆と出会っていなかったら今頃どんな私になっていたかだ…。在学生の皆さんも仲間を大切にして、日々を過ごしてほしいなと心から願っています。

田所 すみれさん
(伊堂)

2007年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科 卒
(社)美芳会 すどの杜勤務

❶ 私は卒業後、静岡県富士市にある特別養護老人ホームで働き始めました。仕事内容は主に、短期入所をされる御利用者のお手伝いです。入社して2年経った頃に学生時代からお付き合いしていた方と結婚し、翌年には赤ちゃんを授かりました。日々子育て奮闘中です！

❷ 学生時代は、放課後に友達とカラオケに行ったり居酒屋でワイワイ飲んだりしていたことをよく思い出します。コースの皆が仲が良かったので大人数で遊んでいました。大学時代、毎日笑いが絶えず、今でも良い思い出がいっぱいです。もちろん、今でも連絡を取り合っており、仲良しです!!

❸ 在学時、先生方にはとてもお世話になりました。特に、4年生の時にゼミの先生であった米村先生には頭が上がりません。先生に働くことの大切さを教えて頂き、無事就職して4年目になります。親身になって相談に乗ってくださる先生がいる淑徳大学に入学して、本当に良かったと思います。

山田 悦子さん

2007年 入学
看護学部 看護学科 卒
淑徳大学 看護栄養学部(教員)

❶ 卒業後、看護師として病院に就職。現在は母校である淑徳大学で看護学科の教員になりました。主に1年生と2年生に看護の基礎を教えています。注射や清拭などの看護技術演習や、病院実習を担当しています。臨床での経験を活かしながら、後輩と一緒に日々私自身も看護を学んでいます。

❷ 勉強に、デートに、友達との遊びに、と励んでいました。命を支える仕事を選んだことに改めて責任感を感じながら、実習や国家試験の勉強を頑張った4年間でした。実習で出会った患者さんや、素敵な看護師さんたちのことは今でははっきり覚えています。大学生活で得たものすべてが今の私を支えてくれていると感じています。

❸ 大学生活は、自分自身が成長できるように考え行動することが大切です。経験も勉強も一生懸命できたと思えるよう、よい先生方や友達に出会い、たくさんのことを吸収しながら日々過ごしてください。保健医療福祉を担う立場として、将来皆さんと一緒に活躍できることを期待しています。

2008

コミュニティ政策学科開設

- コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科を開設

郭 保竹さん

2008年 入学
総合福祉学部 社会福祉学科 卒
中国山東省済南市勤務

❶ 中国に帰国し、現在は故郷の済南で大和総研グループに所属する日系企業で働いています。新入社員対象に日本語、ビジネスマナー、日本文化等を教えています。中国国内市場の経済発展に伴い、社員は毎年100人のスピードで増加しています。10年間の日本留学の経験を活かし、多くの新入社員が早く日系企業に慣れるよう日々頑張っています。

❷ ブラジル研修に参加した際、パラナ州老人和順会での施設の最終日に私たちは当月生まれの方の誕生日会を企画しました。入居者の中には、涙を流しながら私の手を握り「ありがとう」と言って下さった方もいました。人と人との繋がりはとても素晴らしい物だと感じることが出来ました。

❸「人无远虑、必有近忧」という諺があります。この諺の意味は「もし、人はこれから長い間の生活や勉強に対して、何の考えもなければ、必ず今の生活や勉強に困っている」です。将来のことについて、しっかり考慮してから行動し、目標に向かって、努力して下さい。

2008

締　結

- 淑徳大学と富士見市との連携協力に関する包括協定書締結
- 観光シンポジウム「観光立国の未来と人材育成」開催
- 国立病院機構千葉東病院・淑徳大学看護学部連携協議会設立

千葉 瑛里奈さん

2008年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科 卒
新宿区内 就労移行支援事業所勤務

❶ 卒業後、デンマークに1年留学し福祉の勉強をした後に、都内で福祉職に就きました。現在は新宿区にて、障がいがあっても働きたいと思う人の就労支援をしています。ただ守るだけの福祉ではなく、自立を視野に入れた支援、企業目線での訓練を行っているところに面白さと、やりがいを感じています。

❷ 沢山思い出はあるのですが、やはり心に強く残っている思い出は、3年生の時に参加したブラジル研修です。約40日間に渡って、ブラジルの各都市を回り研修やホームスティに参加しました。その中で多くの方と出会えたこと、貴重な体験が出来たことは今でも大切な思い出です。

❸ 4年間の大学生活は、長いようであっという間です。悔いの無いよう、自分がやってみたいと思ったことは、迷わず挑戦してみて下さい。ぜひ、「学生の内にしか出来ないこと」を沢山取り組んでください。その経験は将来の自分の力となり糧となると思います。

小倉 和樹さん

2008年 入学
看護学部 看護学科 卒
独立行政法人国立病院機構千葉東病院勤務

❶ 看護栄養学部のお隣にある千葉東病院5病棟にて看護師をしています。5病棟では、糖尿病、腎疾患、呼吸器疾患の患者様が入院している病棟です。1年目の看護師の指導や病棟内のチームリーダーなど業務以外で任される仕事も多くなり、責任の重さを感じている反面、充実した日々を過ごさせていただいております。

❷ 看護学部の男子学生は学年全体で約1割と数が少なかったため、その分非常に仲が良くプライベートでもよく遊びに出かけていました。現在でも時々交流しています。実習やテスト、国家試験勉強では共に勉強をし、共に困難を乗り越えられたのも大切な仲間がいたからだと思います。

❸ 看護栄養学部の皆様は、講義やテスト、実習、国家試験対策など様々なことに追われているでしょう。辛いこともたくさんありますが。しかし、そのあとには楽しいことが待っているはずです。どうしても耐えられないときは恥ずかしがらず仲間や先生、家族に頼ってみてください。いいアドバイスが貰えるはずです。

2009

締　結

- 千葉ロッテマリーンズと淑徳大学とのパートナーシップ包括協定締結
- 第44回日本仏教社会福祉学会を開催

三橋 絵里子さん

2009年 入学
総合福祉学部 社会福祉学科卒
淑徳大学 千葉キャンパス大学
事務課 勤務

❶ 卒業後、淑徳大学の事務職員として2年間のアルバイト経験を経て、現在は正規職員として働いております。学生時代は事務職員の方と接する機会も少なく、大学事務職員という職種自体無知でした。実際に働き始めて学生時代とは全く違う視点での気付きが多く、日々勉強ではありますが、母校で働けることを誇りに思います。

❷ 学生時代は、気になったことは出来る限り経験をしていました。そのひとつに児童相談所でのアルバイトがあります。児童虐待の現状は非常に重く、子どもとの関わりに責任の重さを痛感しました。その中で小さな成長でも感じることがとても嬉しく、貴重な経験をすることが出来ました。

❸「たくさん失敗できるのも学生の特権」と学生時代によく言われました。最初は意味が分かりませんでしたが、失敗こそが人を成長させてくれるのだと卒業してから感じました。失敗を恐れず挑戦してみてください。周りにはいつだってサポートしてくれる人がいます。その経験は、自分の財産となります。

二宮 光紗さん
(沓掛)

2009年 入学
国際コミュニケーション学部
経営コミュニケーション学科 卒
大手人材派遣会社勤務

❶ 現在は大手の人材派遣会社で、コーディネーターアシスタントとして日々登録しているスタッフの方へ仕事を紹介する仕事をしています。私自身もそうでしたが、仕事をする目的は人それぞれで日々派遣スタッフの方と接する中で、改めて様々な働き方があるということを感じています。

❷ 現在も学生時代に同じゼミにいた友達と、交流をする機会があります。結婚をして子どもがいる人や、自身の好きなことを仕事にして働く人など、本当に様々です。一緒に授業を受けていた友達がこんなにも変わっているんだと、卒業した今だからこそ刺激をもらえることもたくさんあります。

❸ 学生時代は雰囲気に流されがちですが、だからこそ目的や目標を持って物事に取り組むことが重要だと思います。目的・目標を一度立ち止まって考えればそれまでとは少し違った向き合い方が出来るのではないかなと思います。一日一日を大切に、実りある学生生活を送ってほしいと思います。

安藤 涼さん

2009年 入学
看護学部 看護学科 卒
千葉大学医学部附属病院勤務

❶ 小児科に勤務し、治療中の子どもや、そのご家族と関わっています。新人のプリセプターやリーダー業務なども任されるようになり、1・2年目とは異なる難しさを感じています。看護師という責任の重い仕事ですが、子どもたちの笑顔に癒やされながら働いています。

❷ 病態や看護の勉強の難しさや、臨床実習など大変だったことを思い出します。勉強したことは現在の職場でも生かせることが多く、今でも実習中に指導されたことなどは思い返すことがあります。国家試験の勉強では毎日遅くまで勉強しましたが、今思い返せば、同期の皆と頑張れた良い思い出になっています。

❸ 勉強や実習、就活、国家試験など困難なことが待っていると思います。そんな時に支えとなるのは、今まで勉強してきたことや、人生の先輩である先生方、共に頑張ってきた友人だと思います。これからの大学生活、目標に向かって頑張って下さい。そして大学生活を楽しんで下さい。

2010

コミュニティ政策学科開設

- コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科を開設

越前 祥子さん

2009年 入学
総合福祉学部実践心理学
こども心理専攻卒
こまどり幼稚園勤務

❶ 私は大学卒業後、幼稚園教諭として働き始め、2年目になりました。日々の保育や毎月行われる行事の準備に追われ、忙しない毎日ですが、子どもたちと共に過ごす日々はとても充実しています。幼児期の子どもたちの成長は、私の想像を超え、日々の保育は驚きと感動の連続です。

❷ ”何でもやってみる！“をモットーに、興味を持ったことには物怖じせずに挑戦しました。その中でも発達臨床研究センターでの実習や、模ゼミでの造形活動を通して得た経験は、幼稚園教諭として働く今の私を支えてくれています。

❸ 少しでも興味を持ったり、やってみたいと思ったことには是非挑戦してください。私は大学生活を通して、”実際に経験する“ことの大切さを実感しました。その経験は学生だったからこそ出来たことなのだと、社会人になった今改めて感じています。今しか出来ないことは何かを考え、多くの経験を通して、大学生活が有意義なものになることを願っています。

2010

コミュニティ政策学科開設

- コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科を開設
- 千葉キャンパス15号館、千葉キャンパス新若樹寮（女子）竣工
- 淑徳大学アーカイブス設置
- 「淑徳大学学生消防隊」発足（全国初の大学内消防隊）
- 千葉市と淑徳大学の相互連携協力協定締結
- ジェフユナイテッド株式会社と淑徳大学とのパートナーシップ包括協定締結

金坂 裕介さん

2010年 入学
国際コミュニケーション学部
経営コミュニケーション学科 卒
ブリヂストンリテールジャパン(株)勤務

❶ 私は今、ブリヂストンリテールジャパン株式会社という全国にある「タイヤ館」「コクピット」を運営している会社で働いています。元々、車・バイクが好きだったので自動車関係に携わる仕事がしたくて今の会社に入社し、タイヤ館で働いています。

❷ 学生時代の友人は長く続く、とよく言われていますが本当にその通りで、ゼミで一緒だった友人、よく授業を一緒に受けていた友人とは今でも連絡を取り合い、時間が合えば遊びに行ったり、飲みに行ったりしています。仕事、プライベートでも相談し合える良い友人関係を築けています。

❸ 目的が定まらないまま入学してしまった私も、あるきっかけから、一生懸命勉強に取り組むようになりました。そのおかげか同級生の友人、ゼミの伊藤先生とは現在も交流があり、今の会社でも働けています。遊ぶことも大切ですが、卒業後をしっかりと考え、学び、大学生活を過ごすことが重要だと思います。

川村 彩華さん

2010年 入学
看護学部 看護学科 卒
武蔵野赤十字病院勤務

❶ 私は大学を卒業後、助産師学校に進学し、今年の4月から助産師として働いています。NICU／GCUでは小さく生まれてしまった子の日常生活のケアを行っています。成長してきて退院が近づいてくると退院指導を行いますが、授乳指導は腕の見せどころです。できるだけお母さんの希望に添えるように授乳を介助、指導することが大切で、日々勉強しています。

❷ 友人との交流が私の1番の思い出です。実習は辛いことがたくさんありましたが、実習グループのメンバーで支え合いながら乗り越えることができました。実習グループが同じであると、色々相談したりすることができ、交流を深めることができました。実習のメンバーのことは今でも大好きです。

❸ 助産師学校は競争率が高く、必死の勉強が必要でした。しかし、助産師になった今、本当にこの道を選んでよかったなと思っています。皆さんの中で少しでも助産師に興味のある方は勇気を出して助産師への道を歩んでみてください。

東海林 隼人さん

2010年 入学
コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科 卒
(株)トヨタレンタリース千葉勤務

❶ 私は現在、(株)トヨタレンタリース千葉で法人様向けにカーリースの営業をしています。入社して1年が経った今、この会社に入社して本当に良かったと感じます。仕事で辛いことがあった時でも、上司の方や同僚が皆でカバーしてくださることも、本当に嬉しく思います。この先も自分のスキルアップ、会社の発展のために日々精進していきます。

❷ 学生時代、一番の思い出は3年生の時に友達と行ったグアム・ハワイへの旅行です。透き通った海の綺麗さ、人の温かさに感激し、皆でまた来ようと約束して帰ってきたことが、一番の思い出です。

❸ 入学する前は、高校でも先生との距離感を感じていました。しかし入学して先生と多く話す機会も少ないと思って入学しましたが、どんな質問をしても真剣に聞いてくれる先生方ばかりでした。今でも淑徳に入ってよかったと思いますし、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

2011

開　設

- 総合福祉学部 教育福祉学科を開設
- 東日本大震災支援ボランティアとして宮城県石巻市にて支援活動
- 法然上人八百年大遠忌法要開催

牧野 麻未さん

2011年 入学
総合福祉学部 教育福祉学科卒

❶ 10月に行う運動会の準備を進めているところです。子どもたちの意欲を引き出すために、教師も様々な工夫を凝らしています。運動会練習へのストレスを子どもたちに感じさせないためにも、メリハリをつけた指導を心掛けています。運動会練習の中で成長した子どもたちの姿を楽しみに、これからも向き合っていきたいと思います。

❷ 同じ分野を学んできた友達とは、今も子どもとの関わりの中での嬉しさや保育の難しさなどを話したり、相談し合ったりしています。違う分野の友だちの話もまた、社会での厳しさや責任感の重要性、社会性を見直すきっかけなどになっています。今後も、互いに刺激し合いながら、交流を続けていきたいと思います。

❸ 社会人になってみて、学生時代の経験の大切さを実感しています。例えば、アルバイトでの経験は、人との交流が苦手な私にとって、自分を成長するものになりました。あらゆる経験が自分をよく知る機会になり、成長につながったと思います。

八巻 真亜璃さん

2011年 入学
国際コミュニケーション学部
経営コミュニケーション学科 卒
近畿日本ツーリスト(株)勤務

❶ 現在、宇都宮支店で営業として仕事をしています。主に修学旅行の企画から添乗を行ったり、部活動の遠征などの依頼を頂き手配をしたりします。競合他社もいる中で選んでいただかなければ契約になりません。自分の顔を売って信頼していただかなければ契約にはつながらず、日々学校に通っています。

❷ 友人3人と、旅行業務取扱管理者試験の講座を受けて資格取得を実現させたことです。友人と助け合いながら、励ましあったり、勉強帰りに一緒に遊んだりしてモチベーションを保ちながら頑張ることができました。その結果全員合格することができ、学生時代に最も達成感を得る事ができた経験でした。

❸ 学生時代の意識によってその後が大きく変わるのではないかと思います。私は大学時代から旅行業に携わりたいと考えていたので、常にその意識で授業や資格取得に臨んでいました。大学生は時間がたくさんあるので、見てみよう・聞いてみよう・やってみようという意識で、視野を広げ目標を見つけてください。

齋藤 優汰さん

2011年 入学
看護学部 看護学科 卒
千葉県大網白里市役所勤務

❶ 現在は市の保健師として働いています。母子や成人等の保健師業務全般を受け持っており、保健師として地域の方々と接していくことは非常にやりがいを感じます。仕事も覚えたばかりで、まだまだ未熟な部分も多いですが、一生懸命楽しく業務に取り組んでいます。

❷ 学生時代は勉強、アルバイト、サークルと充実した毎日を送っていました。中でも思い出深いのがサークルで、看護学部以外の多くの学生とも関わることができました。また、テスト勉強の際に友人たちと勉強したことも印象深い思い出として残っています。

❸ たくさん思い出をつくり、メリハリをつけていくことが充実した学生生活につながると思います。学生の本業は勉学ですが、それだけに目を向けていると気が滅入ってしまいます。自分なりのリラックス方法を見つけ、心身ともに健康を保てるように生活してください。

2011

重留 雅子さん

2011年 入学
コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科 卒
船橋市役所介護保険課勤務

❶ 私の現在の仕事は、介護保険料の賦課及び徴収に関する事務を行っています。その中でも保険料の還付や充当を主に担当しています。

❷ 学生時代は、公務員試験に向けてWスクールをしたりなど日々勉強をしていたことをよく覚えています。勉強だけでなくそのほかにも、友人と遊んだりサークル活動に参加したり、充実した大学生活を送ることができました。

❸ 学生生活の間に様々な活動に参加する事などを通して、自分の目標を見つけ、その目標に向かって悔いのないように頑張ってほしいと思います。

2012

開　設

- 経営学部経営学科・観光経営学科を開設
- 看護学部を看護栄養学部に名称変更、栄養学科開設
- 千葉第2キャンパス2号館竣工
- 第1回長谷川良信記念 車椅子バスケットボール全国選抜大会開催
- ベトナム国家大学ハノイ人文社会学大学と淑徳大学との学術交流協定締結

清野 舞弓さん

2012年 入学
総合福祉学部 社会福祉学科

❶ 地域の福祉活動を知る機会があり、地域福祉について学ぼうと考えました。入学してから学祖の長谷川良信先生が共生の精神を築いてきた誇るべき存在であることを知りました。私もtogether with himのもと、同じ立場で支援できる支援者になり、4年間で学び感じたことを伝えていきたいです。

❷ 私は大学3年次の実習で初めて障がいをお持ちの方々と関わりました。不安な気持ちのまま実習が始まりましたが、同部屋の仲間がいたことで乗り切れました。動きを真似て個性を発見し、非言語を多用することで距離を縮められました。障がい者に対して持っている感情を自覚できたことが一番の成果です。

❸ 大学に入学する際、将来は多くの子どもたちの力になりたいと漠然と考えていました。先輩とお話しするうちに、夢に向かって努力している姿が姉と重なり、明確な目標へと変化していきました。資格を取得し、専門性を生かし様々な角度から支援していきたいと思います。

山田 裕也さん

2012年 入学
国際コミュニケーション学部
人間環境学科
アドミッションスタッフ、
E-pro.（教材研究サークル）

❶ 私は、高校時代から小学校教員になりたいと思っていたのですが、大学を探す中で、淑徳大学に教員養成もしている学部があることを知りました。実際にオープンキャンパスに参加し、当時の学生スタッフの方と話をしているうちに大学の活気ある雰囲気にひかれ、入学を決意しました。

❷ 入学後、多くの子供と関わることができました。積極的に話しかけたり、外遊びをしたりしながらコミュニケーションを図りました。最初はなかなか心を開いてくれないような子供も、自分から心を開くことで「一緒に遊ぼうよ！」と言ってくれるようになりました。この経験を生かして、立派な教員になれるように頑張りたいです。

❸ 大学で出会った多くの友人のおかげで、大学生活が楽しく実りの多いものであると感じています。また、アドミッションスタッフとしてオープンキャンパスで司会を務めたり、文化祭にてゼミ長として科学遊びを行ったりと、淑徳ならではの体験をすることができました。

本間 桜子さん

2012年 入学
看護栄養学部 栄養学科

❶ 私は昔から管理栄養士として働きたいという想いが強く、そのための勉強ができる大学を探していました。そんな中、高校の担任の先生が「管理栄養士になりたいなら淑徳大学があるよ」と紹介してくださいました。この大学で専門的なことを学ぶことができ、多くの友人と知り合えたことに心から感謝しています。

❷ 一番印象に残っている実習は、小学校での栄養教育実習です。実習では毎日が全力で、学ぶことも多かったため、あっという間に過ぎていきました。途中、心が折れそうな事もありましたが、子ども達の笑顔に何度も救われました。この教育実習で得たこと、感じたことは私にとって一生の宝物です。

❸ 栄養学科は私たちが1期生ということもあり、先生方も私たち一人ひとりの名前と顔を覚えてくださっています。これほど学生と先生の距離が近い大学は、他には無いのではないかと思います。一つひとつの出会いが成長の糧となり、今の自分に繋がっているということに感謝しています。

穴山 広大さん

2012年 入学
コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科

❶ 大学で様々な経験をしていくうちに自治体職員として働きたいと考えるようになりました。卒業後の進路として公務員を志望しています。この夢を叶えることで、これまで自分を支えて下さった両親や教授、友人たちに恩返しをすることが残りの大学生活で達成したい最後の目標です。

❷ 千葉市が事務局を務めるビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会のアイデアコンテストに参加しました。参加にあたって、他の参加者のアイデアに触れる機会も多く、新しい視野を得ることができました。こうした研究を通して得た知識や経験を、社会に出て活かしていきたいと考えています。

❸ 興味を持った分野について満足に学ぶことが出来る環境です。法律学に興味を持った際、教授にご指導を頂き宅地建物取引士の資格を取得しました。また、自治体に興味を持った際には、自治体の行事に参加をし、地域住民との共同の大切さを学ぶことができました。

的場 舞さん

2012年 入学
経営学部 経営学科
軟式野球部

❶ 軟式野球部に1年次からマネージャーとして所属しました。部員のメンタルケアやスコア処理などいろいろと大変でしたが、周囲にも助けられ4年間頑張りました。一番の思い出は、昨年度首都大学軟式野球部連盟の春季リーグにて念願だった1部に昇格できたことです。

❷ 3年生後期のGPAが評価され、表彰されたことが学生生活の大切な思い出です。一時勉強が疎かになったこともありましたが、心を入れ替えて勉強にうちこんだ結果、自分の自信になるような成績を得ることが出来ました。努力をすることで、すぐにではないけれど、成果につながること、努力は裏切らないことがわかりました。

❸ 先輩、後輩、学部を超えて一人ひとりを知ることができます。とても濃い人間関係を構築し、また自分を見つめなおすことができました。人を知る、知ってもらうという貴重な体験ができたことで、今年の就職活動にも身が入り希望する企業への内定を頂くこともできました。

2013

開　設

- 教育学部こども教育学科を開設
- 第41回日本社会事業史学会大会開催
- 千葉キャンパス3号館アネックス（ラーニングコモンズ他）竣工

永井 陽菜さん

2013年 入学
総合福祉学部 実践心理学科

❶ 新しい自分を発見し、将来の可能性を広げていくことを、大学生活の中での全体的な目標としています。新しいことに意欲的に挑戦し、意味のある日々を送りたいと考え、大学から紹介された課外講座や学内イベント等にはなるべく参加するなど、新しい自分を発見できる機会に触れるよう心がけています。

❷ 私が一番に感じている、淑徳大学の自慢したいところは、講義で分からなかった部分を質問すると先生方がいつも親身になって対応してくださることです。分からないところが理解できれば、その講義に対する参加意欲も高まります。先生と生徒の距離が近いというのも、淑徳大学の魅力であると感じています。

❸ 学生サポートセンターやキャリア支援センターの方々、友人や先輩、先生方から、刺激を受けたりアドバイスをいただいたり、共に支えあえるのが淑徳のいいところです。そんな空間で切磋琢磨できることが、何よりよかったと思える瞬間です。

佐藤 優衣さん

2013年 入学
国際コミュニケーション学部
文化コミュニケーション学科
卓球部

❶ 私は、様々な国の人と交流する力をつけることと、スポーツについての知識をつけることが目標です。その為にまずは中国語と朝鮮語を学んでいます。また、スポーツに役立つ授業を履修したり、スポーツ指導員の資格取得に向けて頑張っています。部活でも成績を残せるよう日々練習しています。

❷ 部活の先輩方には、卒業された現在でも大変良くしていただいています。部活面での悩みはもちろん、学生生活を送る上での相談にも乗っていただいています。最近では3年生になり、徐々に就職のことを考えるようになり、体験談や意見を聞かせてもらっています。

❷ 少人数制の授業が多く、特にゼミや語学の授業ではコミュニケーションを取る機会が多くたくさん友達が出来たことです。キャンパスがコンパクトなことで大学内でも会うことが多く、たくさん出来た友達と交流が続いていったり、深まったりするのが淑徳大学に入学して良かったと思うところです。

坪田 麻美さん

2013年 入学
看護栄養学部 看護学科

❶ 胆管がんを患った祖父が終末期を自宅で過ごせるよう介護を行いました。本人の意思を尊重できたという達成感を得ると同時に、祖父のために他に出来ることがあったのではないかという後悔の気持ちが残りました。この出来事をきっかけに看護師を志し、淑徳大学に入学しました。

❷ 2年後期の実習で担当させて頂いた患者さんは、呼吸困難の強い方でした。会話が困難でコミュニケーションがとれず、また自分の知識不足や技術の拙さに挫折も感じながらも、精一杯取り組みました。最終日に初めて名前を呼び笑顔で握手をして下さったことで、私にも出来ることがあるのだと自信を与えて頂きました。

❸ 私は社会人を経験してからの入学であるため、同期生とは10歳の年齢の差があります。しかし年齢など気にせず接してくれる人が多く、大学生活にもすぐに慣れることが出来ました。お互いに励まし合い切磋琢磨する仲間の存在は、私の大きな支えです。同じ目標に向かって学べることに感謝しています。

魚戸 浩介さん

2013年 入学
コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科
フットサルサークル
「feels（代表）」

❶ フットサルサークル「feels」は83名で、男子は経験者も多いですが、女子のほとんどは未経験者です。毎週土曜日に千葉キャンパスアリーナや、おゆみ野のグラウンドで活動しています。みんなで体を動かす時間は、理屈抜きで楽しいです。新入歓迎会、龍澤祭、夏・冬合宿などの様々なイベントも企画し、仲間と充実した時間を過ごしています。

❷ 常盤平団地のボランティアや千倉地域の実習では、高齢化に対し若い世代で何ができるのか真剣に考える機会を得ました。現地に暮らす人々から話を聞き、自分自身も同じ経験をすることで、他者を良く知り、異文化も理解しようと努める大切さを学びました。

❸ 授業、サークル活動、イベント参加などを通して、自分でも気がつかないうちに、コミュニケーション能力が向上しています。鏡先生のゼミでは、墨田区の下町視察、市議会傍聴・議員との懇談や、座学での学友同士のディスカッションなど、毎回アクティブな学びが多く、思考能力・対話力が強化されていると感じています。

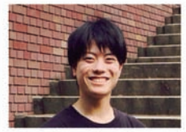
後藤 優実さん

2013年 入学
経営学部 観光経営学科
学園祭実行委員会

❶ 将来ウエディングプランナーとして働くためブライダルの勉強をしたいと思い、入学しました。3年生になり、観光経営研究Ⅱのブライダルコースを履修しています。先生は以前ブライダル業界で働いていた方ですし、課外授業として式場の視察にも行くことができました。将来を見据え、大学生活を送ることを目標としています。

❷ リーダーズキャンプに参加し、リーダーシップを取ることだけが大事ではなく、「サポーター」という役割の重要性を学びました。学年や学部を越えて知り合いも増えました。リーダーズキャンプで見つけた自分の強みを武器にして自分から進んで行動し、様々な場面で活かしていきたいです。

❸ 学生と先生の距離が近く、親しみやすいのが淑徳大学のいい所だと感じています。また大学自体がコンパクトにまとまっているため、すぐに顔見知りが増えるのも良さだと思います。大好きな友達と親身に指導してくださる先生方に囲まれた今の環境が、私はとても大好きです。



鈴木 莉央さん

2013年 入学
教育学部 こども教育学科
軟式野球部、E-pro.、
DOE

❶ 教材研究サークル「E-pro.」では、将来小学校教員を目指す学生が集まり、教育問題についての討論や児童の学びを深める工夫を考え、教材の検討・作成をしています。ここでは学年の壁を越え、何でも話せる環境で活動しているため、楽しく有意義な時間となっています。

❷ フィールドスタディの授業で、小学校実習へ行きました。講義で学んだことを現場で確かめることを目標に2週間臨みましたが、集団の対応・指導では何もできませんでした。自信を失いかけてしまいましたが、自分に不足している知識や技能が明確になり、新たな目標を持つことができました。

❸ 同じ夢を追いかける仲間たちと共に学習やサークル活動を行うことで、切磋琢磨し、互いにを高め合うことができました。小学校現場を経験されている先生方の手厚い指導の下カリキュラムが組まれているため、整った環境で学ぶことができます。中でも週1回の現場での学びは大変有意義なものとなっています。

2014

東京キャンパス設置

- 東京キャンパス設置
  人文学部表現学科・歴史学科を開設
- 東京都板橋区と淑徳大学との地域連携に関する基本協定締結
- 笠間市と淑徳大学との連携協力に関する協定締結

丸山 健太さん

2014年 入学
総合福祉学部 教育福祉学科
中国語サークル

❶ 私は小学校の教員を目指しています。淑徳大学では近隣の小学校やその他教育機関の協力もあり、学生のうちから様々な経験、体験をすることができます。日々の講義に加え、これらの活動を通して、教育への深い知識と経験、情熱を持った教員になれるよう努力していきたいと思っています。

❷ 非常にたくさんのボランティアサークルがあり、多くの学生が自分の将来に関する活動を積極的に行っています。中庭では学生と子どもたちの笑い声が響き、学外のボランティアに参加すると多くの先輩後輩、同級生と関わりが持て、同じ目標を持つ仲間に巡り会うことができます。

❸ 学生のうちから現場での経験ができることです。私は教員志望ですが、ほかの目標を持つ友人もボランティアなどを通して、それぞれの分野の最前線で卒業後を見据えた学習、活動に取り組んでいます。一年生の時から様々な活動ができたのも、後押ししてくれる教員、スタッフの方々のおかげだと思っています。

堀内 綾乃さん

2014年 入学
看護栄養学部 栄養学科

❶ 国家試験に合格することが1番の目標です。普段の授業をよく聞き、ひとつひとつきちんと理解することを大切にしています。また、管理栄養士としてどんな仕事につきたいか、具体的にきちんと考え、それに向けて今何をすればいいのか、他にどんなスキルが必要なのか、調べておくことが大切だと思っています。

❷ 大学に入ってまだ2年目ですが、たくさんの出会いがありました。初対面の人と接するのはあまり得意ではない私にもこんなに多くの友人ができたのは、周りの皆がとてもフレンドリーに、関わりを持ってくれたからだと思います。出会いを大切に、自分からもたくさんの人に接していきたいです。

❸ アドバイザーの先生に何でも相談できるので、学生生活を送る上でとても心強いです。成績について助言を頂いたり、就職について、自分がしたいことを一緒に考えてくれています。施設が新しく、とても使いやすいのも良いと思っています。勉強のやる気も上がります！

加瀬 友梨さん

2014年 入学
コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科
Rec☆Company

❶ 私は公務員志望なのでこの大学に入学しました。コミュニティ政策学部は企業や地域と直接かかわりを持てる学部であったのも入学した理由の一つです。学外の企業の方を招いての授業など体験型や参加型を重視する形態に惹かれました。さらに、多数の資格支援講座があるのもいいなと思いました。

❷ 今年の1年生のサマーセミナーに引率として参加した際、その時の現地の方がコミュニティ政策学部出身の先輩でした。地域のために一生懸命働いている姿を間近で見て、接することで、学ぶことが多かったです。自分も将来地域の人と関われる職業に就きたいなと改めて感じました。

❸ 一番良かったと思うことは、自分の興味のある分野を勉強できていることです。また淑徳大学は先生をはじめとして、先輩、友達と皆よい人ばかりです。この様に恵まれた環境で学べていることも、淑徳大学に入ってよかったことの一つだと思います。

下浦 勇成さん

2014年 入学
経営学部 経営学科
TEAMO

❶ 私はこの大学で、多くの資格を取りたいと考えています。具体的には、宅地建物取引士など、難易度の高い資格の取得を目指しています。他にもTOEICやMOS検定などにも自分の全力を出し切って挑戦し、高いスキルや多くの資格を取るということが目標なのです。

❷ 新しく仲良くなった友達と新しい環境、新しい授業スタイルで日々勉強をしている何気ない毎日が、一番の思い出です。レポートを必死で徹夜をして完成させたり、テスト前に集まってみんなで協力して勉強をしたことも今振り返ると、とてもいい思い出です。

❸ 企業見学・インターンシップ・実習などが充実していて、実践的に体験できることが数多くあります。今まで知らなかった企業についても詳しく知ることができ、とても身になります。さらに、資格取得にも力を入れており、先生方が個別で親身になって話を聞いてくれて力になってくれます。この大学に入学してよかったと思います。

石山 紗衣さん

2014年 入学
教育学部 こども教育学科
パネルシアタークラブ PITAPETA、
アカペラサークル Jam Holder

❶ 自分に自信の持てない私ですが、そんな自分を変えたくて、色々なことに挑戦するという目標を立てました。サークル活動や障がい児ボランティア、ブラジル研修に参加したりと積極的に取り組んでいます。ですが、もっともっと色々なことに挑戦していきたいと思っています。

❷ フィールドスタディーでの実習や子育て支援ボランティアで実際の現場に行き、子供たちの日々の成長を長期的に見ることができ、また、園の先生方の姿を通して保育者としての役割などを学ぶことができました。同時に今後の自分の課題が見つかり、保育者としての小さな、でも確実な一歩を踏み出すことができました。

❸ 淑徳大学に入学してよかったと思うところは、現場経験の機会の多です。1年時から実習があり、現場でしか学べないことを早い段階から経験することができます。またそれに伴い、支援センターなどの先生方が親身に相談に乗ってくれたり、指導してくれたりするのでとても心強いです。

池田 駿一さん

2014年 入学
人文学部 歴史学科
教職サークル「師道塾」、
埼玉キャンパス硬式野球部

❶ 高等学校の歴史科の教員になることです。教職サークルで指導要領や教育心理学、専門教養で歴史を学び、さらに模擬授業をして互いの善し悪しを指摘しあうなど切磋琢磨しています。「あの時もっと頑張っていれば」などと口にすることがないように残された時間を有意義に使います。

❷ 今一番の思い出は文化祭です。私のいるクラスはお菓子と飲み物を販売。作り方を全く知らないながらもクッキーを担当しました。クラスの女の子に教えてもらい、覚えてからは楽しんで作っていたのを覚えています。それと、文化祭前にはあまり話したことのないクラスの人たちと話せるようになれて良かったです。

❸ 教授たちとの距離が近いことです。学科の人数が少ないこともあり、相談事を親身になって聞いてくれたり、アドバイスをくれたりします。気軽に研究室へ質問などに行くことができます。教授たちから得られる知識などをできるだけ多く自分のものにしていきたいと思います。

SHUKUTOKU Together 208
The Shukutoku University Newsletter
発行日：平成27年10月1日　編集：大学広報編集委員会　発行：大学事務局　制作協力：株式会社図書出版

NEWS CLIP

2015.6-2015.9

TOKYO Campus

表現学科1年生ダンス演習の発表会開かれる

7月23日、人文学部表現学科「現代表現論」のダンス発表会が東京キャンパス体育館で行われた。同授業では、一木広治客員教授及びEXILE TETSUYA客員教授により、表現したいイメージやテーマを様々な手法により表現する方法を学習している。

発表会は、身体表現を担当するEXILE TETSUYA客員教授による同科目パフォーマンス演習の成果を発表するもので、父兄や学生、またテレビやラジオなど報道陣らの前で、表現学科一年生がEXILEの代表曲「Rising Sun」のダンスを披露した。演技を終えた学生の中には、全力を出し切ってうずくまる人や、感極まって涙を流す人もいた。最後にTETSUYA先生から「夢をつかむために、これから一緒にがんばろう。いつか仕事の現場でみんなに会えたら嬉しい。（僕には）そんな夢がもうひとつできた」と温かな激励のメッセージを頂いた。

歴史学科フィールドワーク「中山道踏査」

歴史学科では8月29日に1年生と2年生とあわせて総勢12名で、江戸時代の五街道一つ、中山道を起点日本橋から板橋まで踏査しました。当日は雨でしたが、覚悟を決めた学生諸君は、傘やレインコートを手にして日本橋を出発、JR神田駅のガードをくぐって靖国通りを横切り、昌平橋で神田川を渡って、湯島坂を上り、湯島聖堂や神田明神を横目に、本郷へ。それから、旧白山通り、巣鴨商店街、庚申塚、都電荒川線を横断してJR板橋駅へ。この地で非業の死を遂げた新選組局長近藤勇の墓に詣でた後、ついに板橋宿に午後4時に到着。全長10kmあまりを6時間かけて踏査しましたが、1人の落伍者もなく、全員無事に到着できました。

5期生を中心に60名余りの卒業生が参加しました。奈良県立医科大学健康政策医学講座の岡本左和子先生による「医療コミュニケーション～自分を大切にしながら働くこと～」をテーマとした講演会、グループに分かれての情報の交換会、学生ホールでの懇親会と短い時間ながら仕事を始めたばかりの卒業生達にとって安らぎの場となったようでした。

SAITAMA Campus

教育学部「わくわく遊び隊」が地元の子どもたちと交流しました

教育学部では、今年度から「わくわく遊び隊」として学生と地元の子どもたちの交流の場を多く設けています。6月18日には西みずほ台保育園の年長児を招き、1年生は「絵本と紙芝居の読み聞かせ」、2年生は「パネルシアター」、3年生は授業で作った「カエルロケット」をプレゼントしました。また7月2日には富士見市立子育て支援センター「ぴっぴ」へ出向き、小さなお子さんと保護者の方にパネルシアターを披露。たいへん喜んで頂きました。

道の駅「果樹公園あしがくぼ」との連携事業開始

7月31日に、本学と横瀬町の道の駅「果樹公園あしがくぼ」及び国土交通省大宮国道事務所は、「道の駅」の交流・連携の一環として、連携企画型実習を実施することを発表しました。経営学部経営学科の学生が連携して、地元産物を活用したオリジナル商品の開発や町の魅力を広める情報発信の企画・立案をします。早速8月24日・25日に合宿を行い、学生たちが道の駅や農園など横瀬町を視察しました。この件は、読売新聞（8月30日朝刊）、埼玉新聞（8月26日朝刊）でも紹介されました。

CHIBA Campus

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験対策合宿

7月26日、27日の2日間、生命の森リゾートにおいて、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験対策の合宿が開催されました。1日目は本番さながらの模擬試験。緊張した面持ちで受験しました。2日目はグループに分かれての調べ学習。また、昨年度合格した2名の先輩方を招き、体験談を話していただきました。いつもとは違った空間で、同じ目標を持った仲間たちと過ごした時間は良い刺激になり、後半戦に臨む足がかりとなりました。

コミュニティ政策学部公務員試験勉強合宿

9月3日、4日、5日、浦安市青少年交流活動センターにて、コミュニティ政策学部公務員試験勉強合宿を実施し、2年生から4年生の計14名が勉強会に参加しました。モチベーションを維持するため、地方自治体の副市長による講演・質疑応答も行われました。

参加学生からは、「グループで学習できたので、解法を教え合うことができた。」「苦手科目が分かるようになって自信がついた。」等の意見が寄せられ、効率的な学習習慣と大切な仲間を得ることができた大変有意義な合宿となりました。

CHIBA2nd Campus

ホームカミングデー（卒業生の集い）開催

7月18日、淑徳大学と淑徳大学同窓会との共催で、卒業生のアフターケアを目的とした『ホームカミングデー【卒業生の集い】』が開催され、

「淑徳大学広報」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！　reply@soc.shukutoku.ac.jp

■ 千葉キャンパス
総合福祉学部／コミュニティ政策学部
大学院総合福祉研究科
千葉県千葉市中央区大巌寺町200
TEL. 043-265-7331

■ 埼玉キャンパス
国際コミュニケーション学部／経営学部
教育学部
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL. 049-274-1511

■ 通信教育部
東京都板橋区前野町5-8-7
TEL. 03-5392-5768

■ 千葉第2キャンパス
看護栄養学部
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL. 043-305-1881

■ 東京キャンパス
人文学部
淑徳大学短期大学部
東京都板橋区前野町6-36-4
TEL. 03-3966-7631

■ 池袋サテライト・キャンパス
東京都豊島区南池袋1-26-9　MYT第2ビル7F
TEL. 03-5979-7061